

令和2年度実績並びに
令和3年度中間実績

当別町教育委員会 点検・評価報告書

令和3年11月
当別町教育委員会

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第26条）の規定に基づき、令和2年度の教育委員会の権限に属する事務の管理と執行の状況について、学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行うとともに、併せて令和3年度の教育委員会の権限に属する事務の管理と執行の状況の中間実績について、点検及び評価を行い、作成・公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目次

第1章	点検及び評価の概要	1頁
第2章	教育委員会の活動状況	
1	教育委員会会議	2頁
2	教育委員会会議以外の活動状況	10頁
第3章	当別町教育推進計画重点的取組の点検及び評価	
1	重点的取組	11頁
2	令和2年度及び令和3年度の点検及び評価	
(1)	学校教育分野	12頁
(2)	社会教育分野	43頁
(3)	子育て支援・幼児教育分野	63頁
第4章	外部評価	
1	学校教育分野について	69頁
2	社会教育分野について	74頁
3	子育て支援・幼児教育分野について	76頁
《	資料編	》
1	教育委員会委員名簿	78頁
2	令和2年度当別町教育推進計画	79頁
3	令和3年度当別町教育推進計画	80頁
4	令和2年度教育関係予算・決算並びに令和3年度教育関係予算	81頁

第1章 点検及び評価の概要

1 点検及び評価の対象

教育委員会の事業は年度単位で執行されているため、教育委員会の点検及び評価は次年度に入ってから行うこととしています。

本年度の点検及び評価は、「令和2年度当別町教育推進計画」及び「令和3年度当別町教育推進計画」の重点的取組に位置付けされた施策を点検項目として選定しました。

2 点検及び評価の内容

教育委員会会議の開催状況、審議案件など教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、当別町教育予算の概要の重点施策に位置付けされた施策・事業等の点検及び評価については、個別に取組状況を点検し、成果と課題を踏まえ今後の方向性を明らかにしています。

また、教育委員会の活動状況や施策・事業等の点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に反映させるため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

3 点検及び評価の公表

点検及び評価の結果をまとめた報告書を当別町議会に提出するとともに、町民に広く公表します。

第2章 教育委員会の活動状況

1 教育委員会会議の開催状況

教育委員会の会議は、地方教育行政法及び当別町教育委員会会議規則に基づき、教育長と4人の教育委員が主要な教育施策の策定、変更及び実施に関する事、教育委員会規則等の制定、教育に関する様々な課題について審議しています。

それぞれの会議においては、事務局から付議案件の提案説明や報告事項等について説明が行われた後、教育長と教育委員による慎重な審議を経て、決定、了解、承認されてきたところです。

さらに、会議以外においては、現場の状況を把握したうえでの審議が行われるよう、学校や教育関係施設の視察、各種行事への参加を行っております。

今日の教育を取り巻く課題は、複雑・多様化しており、今後においても諸課題等に対応した施策の推進に向けて、引き続き十分な審議を行い、地域教育の更なる充実のため、町民の積極的な参画と協働の下、多様で質の高い教育行政を積極的に推進していく必要があります。

(1) 会議の開催状況

教育委員会会議については、当別町教育委員会会議規則第4条第1項の規定に基づき毎月定例会を開催し、また、同条第2項の規定に基づき必要に応じて臨時会を開催しています。

令和2年度については、下記のとおり合計13回の会議が開催されたところです。

① 定例会 12回（毎月）

② 臨時会 1回（3月）

令和3年度9月末日までについては、定例会が6回開催されています。

なお、会議以外に事務局との研修会も随時実施しています。

(2) 会議の審議案件

教育委員会会議での審議事項については、当別町教育委員会事務委任規則第1条の規定に基づき審議しています。

また、同規則に規定されていない事務局報告事項についても、質疑応答を行っています。

令和2年度については、下記のとおり審議及び報告が行われたところです。

- ① 当別町教育委員会事務委任規則第1条に基づく審議事項
 - ・議決案件41件
 - ・協議案件24件
 - ・報告案件50件
- ② 事務局報告事項84件
- ③ 付議案件一覧

日 程	付 議 案 件
R2.4.22	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について ・当別町保育士等就労支援給付金交付規則制定について ・臨時代理の報告について (当別町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則制定について) ・臨時代理の報告について (当別町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の廃止について) ・臨時代理の報告について (当別町私立幼稚園特別支援教育費補助金交付要綱の一部改正について) ・臨時代理の報告について (教育委員会事務局職員の人事異動について) ・臨時代理の報告について (当別町教育支援委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町学校給食センター運営委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町社会教育委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町社会教育委員会委員の委嘱について) <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町立学校修学旅行実施基準の一部を改正する訓令の制定について ・第1地区教科用図書採択教育委員会協議会委員の選任について ・当別町スポーツ推進委員会委員の委嘱について ・当別町教育支援委員会委員の委嘱について ・当別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

日 程	付 議 案 件
	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町いじめ問題調査委員会委員の委嘱について ・当別町立当別小学校・当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について ・当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について
R2.5.21	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について (当別町社会教育委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町社会教育委員会委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の委嘱について) ・認定こども園「おとぎのくに」における公私連携協定検証報告について (議 案) ・当別町要保護及び準要保護児童生徒就学援助規則の一部を改正する規則制定について (協議案) ・当別町立学校設置条例の一部を改正する条例制定について ・当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・令和2年度6月補正予算について
R2.6.24	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (令和2年度6月補正予算について) ・当別町立学校設置条例の一部を改正する条例制定について <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

日 程	付 議 案 件
	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・令和2年度6月補正予算について (議 案) ・当別町立学校児童生徒通学区域に関する規則の一部を改正する規則制定について ・当別町教職員住宅管理規則の一部を改正する規則制定について ・教育財産（下川町教職員住宅）の用途の廃止について (協議案) ・当別町子育て世帯応援商品券支給事業実施規則制定について
R2.7.15	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について （当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の解職について） ・臨時代理の報告について （当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について） ・当別町一体型義務教育学校建設工事（建築主体）請負契約について ・当別町一体型義務教育学校建設工事（電気設備）請負契約について ・当別町一体型義務教育学校建設工事（機械設備）請負契約について ・当別町子育て世帯応援商品券支給事業実施規則制定について
R2.8.26	<p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書並びに令和3年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について (協議案) ・令和2年度9月補正予算について
R2.9.23	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会委員の任命について ・当別町教育系ネットワークシステム構築業務委託請負契約について ・当別町教育系ネットワークシステム端末購入契約について ・令和2年度9月補正予算について (議 案) ・当別町立当別小学校・当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について (協議案) ・当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について ・当別町保育従事者等臨時慰労金給付規則制定について ・当別町図書館に関する陳情書について

日 程	付 議 案 件
R2.10.21	(報 告) ・ 当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について ・ 当別町保育従事者等臨時慰労金給付規則制定について (協議案) ・ とうべつ学園校章の選定について (議 案) ・ とうべつ学園校章の決定について (追加議案)
R2.11.20	(報 告) ・ 校務系ネットワークシステム構築業務委託請負契約について (議 案) ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について (協議案) ・ 当別町子ども・子育て会議委員の解職について ・ 当別町子ども・子育て会議委員の委嘱について ・ 当別町要保護児童対策地域協議会委員の解職について ・ 当別町要保護児童対策地域協議会委員の委嘱について ・ とうべつ学園校名ロゴタイプの選定について ・ 令和2年度12月補正予算について (議 案) ・ とうべつ学園校名ロゴタイプの決定について (追加議案)
R2.12.18	(報 告) ・ 令和2年度12月補正予算について (議 案) ・ 当別町教育委員会公印規則の一部を改正する規則制定について ・ 教育委員会事務局職員の人事異動について ・ 当別町学校給食センター運営委員会委員の解職について ・ 当別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について (協議案) ・ とうべつ学園校章の選定について (議 案) ・ とうべつ学園校章の決定について (追加議案)
R3.1.20	(報 告) ・ 臨時代理の報告について (教育委員会事務局職員の人事異動について) (議 案) ・ 令和2年度教育委員会表彰の被表彰者の選考及び決定について
R3.2.17	(報 告) ・ 臨時代理の報告について (令和2年度補正予算について)

(次のページへ続く)

日程	付 議 案 件
	<p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町学習用情報機器貸出規則制定について ・当別町家庭学習用通信機器貸出規則制定について ・当別町臨時休業対策昼食支援金支給要綱制定について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度3月補正予算について ・令和3年度教育予算編成の概要について ・令和3年度当初予算について ・当別町学校給食センター条例の一部を改正する条例制定について
R3.3.4 (臨時会)	<p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人事異動内申について
R3.3.24	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度3月補正予算について ・令和3年度当初予算について ・当別町学校給食センター条例の一部を改正する条例制定について ・当別町子どもの読書活動推進計画（第3次計画）について ・令和3年度当別町社会教育推進計画について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局職員の人事異動について ・教育財産（下川町教職員住宅）の用途の廃止について ・当別町教職員住宅管理規則の一部を改正する規則制定について ・当別町学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町要保護及び準要保護児童生徒就学援助規則の一部を改正する規則制定について ・当別町古文書等の保存及び利用に関する規則制定について ・当別町学校給食センター職員の勤務に関する規程の一部を改正する訓令制定について ・当別町学校給食事務取扱要綱の一部を改正する訓令制定について ・当別町学校給食用物資購入事務取扱要領を廃止する訓令制定について ・当別町学校給食費預貯金口座振替納付事務取扱要領制定について ・当別町義務教育学校開校準備委員会設置要綱の一部を改正する訓令制定について ・当別町小中一貫教育推進委員会設置要綱制定について ・成年年齢引き下げに係る成人式の取り扱いについて ・当別町学校支援地域本部運営委員会設置要綱の一部を改正する訓令制定について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町保育支援者配置事業補助金交付規則制定について ・当別町子育て短期支援事業実施要綱制定について

令和3年度9月末日までについては、下記のとおり審議及び報告が行われたところでは、

- ① 当別町教育委員会事務委任規則第1条に基づく審議事項
 - ・議決案件9件
 - ・協議案件7件
 - ・報告案件18件
- ② 事務局報告事項51件
- ③ 付議案件一覧

日 程	付 議 案 件
R3.4.21	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町保育支援者配置事業補助金交付規則制定について ・当別町子育て短期支援事業実施要綱制定について ・臨時代理の報告について (当別町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則制定について) ・臨時代理の報告について (教育委員会事務局職員の人事異動について) ・臨時代理の報告について (当別町教育支援委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について) <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町義務教育学校教育課程編成委員会設置要綱を廃止する訓令制定について ・当別町一貫教育推進委員会設置要綱制定について ・第1地区教科用図書採択教育委員会協議会委員の選任について ・当別町社会教育委員会委員の委嘱について ・当別町教育支援委員会委員の委嘱について
R3.5.19	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の委嘱について) <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度6月補正予算について ・当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について

日 程	付 議 案 件
R3.6.25	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度6月補正予算について ・ 当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・ 当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・ 当別町一体型義務教育学校建設工事（外構工事）請負契約について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当別町立当別小学校・当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について
R3.7.21	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時代理の報告について （当別町スポーツ推進委員会委員の解職について） <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当別町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について
R3.8.18	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度に使用する小学校用、中学校用及び義務教育学校用教科用図書並びに令和4年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度9月補正予算について
R3.9.29	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時代理の報告について （令和3年度9月補正予算（追加分）について） ・ 教育委員会委員の任命について ・ 令和3年度9月補正予算について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への当別町の結果掲載について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当別町子ども・子育て会議委員の委嘱について ・ とうべつ学園校旗の選定について

2 教育委員会会議以外の主な活動状況

令和2年度の活動状況については、下記のとおりです。

	開催日	会議名等
会議等	令和2年11月16日	令和2年度市町村教育委員会新任委員研修会（オンライン）
	令和2年11月17日	令和2年度市町村教育委員会オンライン協議会（オンライン）
研修等	令和2年 6月24日	教育委員会研修会 （当別町図書館に関する陳情書の取り扱いについて） （当別町議会臨時会の開催について）
	令和2年 8月26日	教育委員会研修会 （図書館陳情に対する回答、成人式について）
	令和2年 9月23日	教育委員会研修会 （GIGAスクールについて）
	令和2年10月21日	教育委員会研修会 （令和3年度新規・拡大事業等予算について） （点検・評価について「令和元年度実績並びに令和2年度中間実績」）
	令和2年12月18日	教育委員会研修会 （令和3年度新規・拡大事業等予算について） （令和3年度当別町教育推進計画について）
	令和3年 2月17日	教育委員会研修会 （当別町子どもの読書活動推進計画について）

令和3年度9月末までの活動状況については、下記のとおりです。

（※は教育長のみが出席）

	開催日	会議名等
会議等	令和3年 4月23日	※石狩管内教育委員会協議会総会及び各部会（オンライン）
	令和3年 7月13日	※令和3年度石狩管内地域いじめ問題等対策連絡協議会第1回会議（オンライン）
	令和3年 8月27日	※全道市町村教育委員会教育長会議（オンライン）
	令和3年 9月 2日	令和3年度市町村教育委員会オンライン協議会（オンライン）
研修等	令和3年 4月14日	教育委員会研修会 （子育て世帯向け公共賃貸住宅「COCOTTO」内覧について） （当別町小中一貫教育推進委員会設置要綱制定について）
	令和3年 4月21日	教育委員会研修会 （教育委員会組織図） （令和3年度児童生徒数及び学級数等について） （成人式について）
	令和3年 6月25日	教育委員会研修会 （「とうべつ学園」工事現場視察）
	令和3年 8月31日	教育委員会研修会 （令和3年度全国学力学習状況調査結果）

第3章 当別町教育推進計画重点的取組の点検及び評価

1 重点的取組

分野	年度	重点的取組	頁
学校教育分野	R2	① 確かな学力の育成（知） ② 豊かな心の育成（徳） ③ 健やかな体の育成（体）	12
	R3	① 確かな学力の育成（知） ② 豊かな心の育成（徳） ③ 健やかな体の育成（体）	19
社会教育分野	R2	① 多彩な生涯学習プログラムの展開 ② 三課横断「児童生徒、学校及び家庭支援」 ③ 読書活動の推進	43
	R3	① 新たな生涯学習プログラムの展開 ② 地域学校協働本部事業による児童生徒、学校支援	49
子育て支援・幼児教育分野	R2	① 子育て支援の充実と幼児教育・保育の充実 ② 社会全体で子どもを守る体制の構築	63
	R3	① 子育て支援の充実 ② 幼児教育・保育の充実	66

【学校教育分野】

令和2年度の点検及び最終評価 P 12～

令和3年度の点検及び中間評価 P 19～

資 料 P 24～

点検項目	確かな学力の育成（知）	
2年度 達成目標	【達成指標】 全国学力・学習状況調査や各検査結果全国平均以上	
具体的 取組	1 一貫した教育課程の編成及び小学校新学習指導要領の完全実施 2 小学校教科担任制の試行（一貫教育推進講師等の活用） 3 授業改善 (1) 「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業実施 (2) 小学校授業改善推進チーム（チームJ）の成果活用と中学校への波及 (3) 学習規律の徹底 (4) 一貫教育推進講師の配置（英語、算数・数学、各2名） (5) 小学校教科外国語全授業ALT配置 (小学2名配置 865時間 中学1名配置、108時間) 4 三課横断「学力向上対策」（放課後学習会、土曜教室、土曜学習会、プレイハウス）	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった	達成に向けて相当な進展があった
自己評価	【進捗状況】 1-(1) 小中学校が連携協働し、教育課程の編成を行った。 1-(2) 新型コロナウイルスの影響による2か月の空白を回復するため、分散登校の実施や長期休業の短縮、行事の精選など学校への指導助言を行っている。 2 小中学校教員からなる「教科担任制ワーキンググループ」（各校の管理職または教務）を組織し、当別・西当別両地区の実態を考慮しながら、令和3年度からの実現に向け、具体策について検討を進めている。	【成果】 1-(1) 教育課程編成委員会で令和4年度実施の「とうべつ未来学」の学習内容をまとめ、各校に示した。令和3年度より試行する。 1-(2) 臨時休校に係る授業時数の回復については、長期休業の短縮、行事の精選などにより、標準授業時数を概ね確保することができた。 小学校新学習指導要領実施1年目という大事な年であったが、英語や授業改善の先取りもあり、完全実施することができた。 2 来年度は英語及び理科加配を活用した教科担任制を実施することとした。

	中間評価	最終評価
自己評価	<p>3-(1) 各校の研修部が中心となって授業改善を進めている。校内研修には学校教育指導主事が出向いて指導助言を行い、改善を図っている。</p> <p>また、新型コロナウイルス対応を教訓に、臨時休校時においても「学びを止めない」ための授業の在り方について、各校において実証実験を始めている。</p> <p>3-(2)(3) 授業改善推進チームの取り組みを3年にわたり行ってきた。その結果として、授業の質の向上や学習規律の定着を図ることができ、成績の向上にもつながった。小学校のみならず、中学校にもその成果が波及させることができています。</p> <p>通信「紡」発行数：平成30年度 98号 令和元年度 72号</p> <p>3-(4)(5) 一貫教育推進講師（算数・数学2名、外国語2名）を各校に配置し、小・中学校間の接続を意識したティーム・ティーチング教育を推進した。</p> <p>また、ALT3名、外国語専科教員2名を配置し、9年を見通した外国語教育の推進を図った。</p> <p>4 社会教育課と連携し、放課後学習会や土曜教室、土曜学習会、当別町インターナショナルクラブなど、児童生徒の学力向上支援を実施している。子ども未来課との連携により、臨時休校時においても</p>	<p>3-(1)(2)(3) 授業改善（主体的・対話的で深い学び）のための校内研修を複数回実施し、改善につなげた。</p> <p>また、GIGAスクール構想で整備した一人一台端末を配置することができた。</p> <p>通信「紡」発行数：令和2年度 37号</p> <p>※ 授業改善推進チームが推奨した「ピクトグラム（意味するものの形状を使って、その意味や概念を理解させる記号）」や「振り返りの視点」を取り入れた理科学習指導案【資料1】</p> <p>3-(4)(5) 11月に中学生を対象に実施した英検I B Aにおいて、英検3級相当以上の中学3年生が、文部科学省が目標とする50%を大きく超え、68.3%（前年度比+5.2%）と非常に高い割合となった。これまでの英語教育、特に小学校の外国語活動・外国語の先行実施、一貫教育推進講師及びALTを有効に活用した成果と評価する。</p> <p>（ALTの派遣時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 延べ781時間 ・中学校 延べ62時間 <p>4 新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という）の影響により、各学習会の実施回数が減となったが、可能な範囲で実施し、児童生徒の学力向上を支援することができた。</p>

	中間評価	最終評価
	プレイハウスを開設することができた。	(実施状況) ・放課後学習会 103日 1,490名 (小学校56日、中学校47日) ・土曜教室 2日 30名 ・土曜学習会 6日 18名 ・イングリッシュ・プロジェクト 4日 32名
今後の方向性		「継続して進める」 確かな学力の育成は永遠の課題であるので、令和2年度の施策をベースに引き続き取り組みを進めていく。
担当係	学校教育係、一貫教育係	学校教育係、一貫教育係、生涯学習係、子育てサポート係

点検項目	豊かな心の育成（徳）	
2年度 達成目標	【達成指標】 いじめゼロ	
具体的 取組	1 教科道德の円滑な実施 2 一貫した生徒指導の推進 (1) 児童生徒の小・中学校間の共通理解 (2) 小中合同事業の開催（児童会や生徒会共催、ボランティア活動、芸術鑑賞等） 3 読書活動推進（学校図書館の活用） 4 三課横断「心の育成事業」（通学合宿、合同道德、プレハウス、多世代交流事業、文化祭等）	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて一定の進展があった	達成に向けて一定の進展があった
自己評価	【進捗状況】 1 2か月の空白はあるが、教育課程全体を通して、児童生徒の人間性・社会性を育み、「心」を育てる教育ができた。特に、各校では「考え、議論する道德」を目指し、コロナ禍における弱者への思いやり、医療従事者への感謝などを取り上げた。また西当別中学校では、校内研究教科を道德に設定し、今後成果を町内各校に還元する。 2-(1) 小中学校間で常に情報共有を行っている。特に3月から4月は、小6担任から新年度中1担任予定教諭への詳細な引継ぎが行われ、クラス編成やその後の生徒指導に役立っている。 2-(2) 今年度前半は新型コロナウイルスの影響もあり、合同事業の実施はできていないが、今後状況を見ながら適宜、実施に向けた検討を行っていく。 3 コロナ禍であったが、町立図書館司書を中心に、学校図書への貸し出しを実施し、児童生徒の読書習慣を低下させないように	【成果】 1 各校においては、全教職員による日常の見守りや定期的な「いじめアンケート」、ネットパトロールなどにより、いじめにつながる小さな変化を見逃さない取り組みができた。 西当別中学校の校内研究「道德」は、当別町学校教育研究推進協議会を通じて各校に情報提供された。 2-(1) 5月以降は特に課題の見られる児童生徒を中心に情報交換を行い、指導に役立っている。 2-(2) 新型コロナの影響により、芸術鑑賞は実施できなかった。今後はオンラインを活用するなど開催方法を検討する。 その他の行事は、時間短縮や参加人数を減らすなど形を変えながらの実施となったが、目的を達成することができた。 3 学校再開後、図書を借りるための行列ができた学校もあったと報告を受けている。一斉休校中の指導の成果と受け止め、

	中間評価	最終評価
	<p>努めた。</p> <p>4 今年度前半は新型コロナウイルスの影響もあり、多くの事業が実施できていないが、今後状況を見ながら、実施に向けた検討を行っていく。各学校では、道教委派遣のスクールカウンセラーによる相談を実施し、コロナ禍における児童生徒の「心のケア」に努めている。</p>	<p>引き続き読書指導を続けていく。</p> <p>4 北海道いじめ問題対策連絡協議会主催による「いじめ撲滅標語プロジェクト～絆メッセージ」に4校で取り組み、いじめ未然防止の誓いを全児童生徒、教員が新たにした。</p> <p>(管内審査結果)</p> <p>小学校の部 奨励賞 1名</p> <p>中学校の部 奨励賞 1名</p> <p>また、北海道教育委員会による「いじめアンケート」の調査結果、令和2年度末では「いじめゼロ」であった。</p> <p>なお、道教委派遣のスクールカウンセラー(2名)による相談は、後期も引き続き行った。(各学校合計 年間派遣回数 38回、相談件数 127件)</p>
今後の方向性		「継続して進める」
担当係	学校教育係、一貫教育係	

点検項目 健やかな体の育成（体）		
2年度 達成目標	【達成指標】 全国体力調査、体力総合得点全国平均以上	
取組の 概要	1 一貫した体力向上プラン 2 高等教育機関との連携 (1) 北海道医療大学との連携（歯科検診、フッ化物洗口、がん予防教育、ピロリ菌検査） (2) 日本体育大学との連携 3 安全安心な給食の提供 (1) 当別高校と連携したメニュー開発 (2) 地場産食材の活用	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった	達成に向けて一定の進展があった
自己評価	【進捗状況】 1 今年度は新型コロナウイルスの影響で、全国体力調査の実施は見送られたが、児童生徒の体力の状況把握に向け、各学校では、児童生徒間の身体的接触がない「50m走、ボール投げ、反復横跳び、立ち幅跳び」を実施した。結果については、小中学校連携して分析を行い、体力向上プランを作成するよう指示をしている。今後それらをもとに町教委としてのプランをまとめていく。 2 高等教育機関との連携は、「歯科検診、ピロリ菌検査」など、実施できるものについては取り組んでいる。	1 一斉休校の影響は大きかったが、年間を通して教科体育、行事、一校一実践等により体力向上を図った。 2-(1) 北海道医療大学や当別町歯科医師会の協力で、学校歯科検診、就学時健康診断及びピロリ菌2次検査（保健福祉課所管事業）は実施できた。フッ化物洗口は見送らざるを得なかったが、歯の健康については、養護教諭を中心に進めた。 2-(2) 日本体育大学の協力を得て、小中学校の教員への実技指導（種目は未定）など体育の授業研究を予定していたが、新型コロナ防止対策のため、中止とした。

	中間評価	最終評価
	<p>3-(1) 当別高校とのメニュー開発は、当別150年記念事業で考案したメニューを給食風にアレンジし提供する予定であったが、次年度に繰り越しとなった。</p> <p>3-(2) 地場産食材は、米、季節の野菜、肉等積極的に活用をしている。</p> <p>また、北海道より無償提供のあった道産の牛肉・ホタテを活用したメニューを前期1回、後期5回実施する。</p>	<p>3-(1) 次年度は、「小中高 TOWN ミーティング」の中で、当別町150周年記念メニューの開発という形で取り組む予定である。</p> <p>3-(2) 今年度は新たに「大豆」「鹿肉」を追加するなど、年間を通じ地場産食材を提供することができた。【資料2】</p> <p>また、無償提供のあった道産食材（牛肉・ホタテ）を活用したメニュー提供や北海道日本ハムファイターズ選手がご当地給食として未来を担う子供たちの食と健康づくりが豊かになるよう考案したメニューを提供するなど、多彩なメニューを提供することで、児童生徒の食に対する関心を深めた。</p> <p>・令和2年度の食育指導 実施報告 【資料3】</p>
今後の方向性		<p>「継続して進める」</p> <p>令和2年度はコロナ禍にあつて高等教育機関との連携した事業が実施できなかったが、引き続き関係を強化していきたい。</p>
担当係	学校教育係、一貫教育係、給食センター	

点検項目	確かな学力の育成（知）	
3年度 達成目標	【達成指標】 全国学力・学習状況調査や各検査結果全国平均以上	
具体的 取組	1 小中学校連続した教育課程の編成と実施 (1) 「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業改善 (2) 小学校授業改善チーム（チームJ）の視点を取り入れた授業改善 (3) 新しい取り組みへの挑戦（とうべつ未来学、教科担任制、学びのハンドブック） (4) GIGAスクール事業（一人一台端末配置、授業改善、オンライン授業研究等） 2 学びを支える人的支援 (1) 学校教育指導主事の派遣 (2) 学力向上推進講師の配置（英語、算数・数学、各2名）による教科担任制試行 (3) 小・中学校へのALT（2名）継続配置による外国語教育の充実 (4) 特別支援教育支援員継続配置（各校2名）による特別支援教育の充実	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった	
自己評価	【進捗状況】 1-(1)(2)(4) ICT（一人一台端末）を活用したオンラン授業や授業改善を児童生徒、教職員ともに進めている。 【資料4】 （【資料4】以外の活用の一例） 「Google Jamboard(アプリ)」を使用。お互いの意見を交流し、授業のまとめ・振り返りに活用することで習熟につながった。 また、次の授業の課題につなげ、学習意欲を高めた。 1-(3) ・とうべつ未来学 各校で試行に入っている。 【資料5】 ・教科担任制 (1) 小学校担任による教科担任制を実施。 (当小) 5・6年生 社会・音楽・家庭科 (西小) 5・6年生 理科、社会	

	中間評価	最終評価
自己評価	<p>(2) 英語及び理科専科加配を活用した教科担任制を施行している。</p> <p>(英語) 小学校 週 9時間 中学校 週 10時間</p> <p>(理科) 小学校 週 23時間</p> <p>・学びのハンドブック 当別町学校教育研修推進協議会で9年間の学習内容や家庭学習への取り組み方などを一冊にまとめ、各家庭に配布する準備を進めている。</p> <p>・キャリアノート 自分を振り返り、「なりたい自分」につなげるため、今年度からは全児童生徒にキャリアノートを持たせ、キャリア教育の充実をスタートさせた。【資料6】</p> <p>2-1(1) 学校教育指導主事が定期的な学校訪問（指導主事訪問、面談等）のほか、学校の求めに応じた訪問を実施している。（各校への訪問回数 平均月5回程度）この中で、小中学校の学校経営・学力向上に関する指導や助言、児童生徒及び保護者の相談や対応など多岐にわたり、きめ細やかな指導助言を行っている。</p> <p>2-1(2) 平成29年度から継続して学力向上推進講師（英語2名、算数・数学2名）を配置している。TT指導による下位層の引き上げなど学力向上につながっている。</p> <p>2-1(3) ALTのネイティブな英語の発音に慣れることで、ヒアリング、スピーキング能力の向上を図った。</p> <p>一年間派遣時数（予定）－</p> <p>小1・2 70時間 小3・4 245時間 小5 210時間 小6 140時間 中1～3 108時間</p>	

	中間評価	最終評価
自己評価	2-(4) 通常学級における「困り感」を持つ児童生徒の指導にあたっており、学校のニーズに応じた指導により、児童生徒の落ち着いた授業環境作りをサポートしている。	
担当係	学校教育係、一貫教育係	

点検項目		豊かな心の育成（徳）	
3年度 達成目標	【達成指標】 いじめゼロ		
具体的 取組	1 教科「道徳」を中心とした心の育成 2 小中学校間の情報共有と発達段階を踏まえた児童・生徒指導 3 小中合同事業の開催（児童会や生徒会、いじめ撲滅集会、ボランティア活動等）		
	中間評価		最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった		
自己評価	【進捗状況】 1 年間指導計画に基づき、計画的に教科道徳を実施している。行事の延期や縮小で集団での学びは減少しているが、可能な限り心を育むよう全校で取り組んでいる。 2 新1年生の情報共有を新学期前に実施し、課題の見られる児童生徒についての理解を図った。 3 人権意識を高めるため、小中学校の合同道徳で外部講師による講話を実施した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 講師：弁護士 八代 眞由美 氏 演題：「ストップいじめ！～自分も相手も大切な存在だから」 </div> その後、児童会及び生徒会が主体となり、「いじめ撲滅宣言」を採択。いじめ未然防止の誓いを新たにした。 また、北海道教育委員会の実施する「いじめの把握のためのアンケート調査」の5～6月上旬に調査した結果では、いじめであると認知した件数が4件あった。重大ないじめにつながる事案ではなかったが引き続き小さな変化を見逃さず、日常的な観察と情報の共有化を徹底する。		
担当係	学校教育係、一貫教育係		

点検項目 健やかな体の育成（体）		
3年度 達成目標	【達成指標】 全国体力調査、全種目全国平均以上	
具体的 取組	1 小中学校間の情報共有と発達段階を踏まえた体力向上の取組 2 一校一実践 3 食育指導	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった	
自己評価	<p>【進捗状況】</p> <p>1 学校ごとに「体力向上プラン」を作成（一例：【資料7】西当別小学校） 小学校低学年では運動の楽しさを味わわせ、高学年では目標をもって運動に取り組ませるなど、発達段階を踏まえた体力向上に取り組んでいる。 中学校では、小学校での取り組みを元に、教科体育や部活、行事など教育課程全般を通し、体力向上の取り組みを進めている。</p> <p>2 各校において、授業や特別活動等で「縄跳び」を一校一実践として取り組んでいる。</p> <p>3 食育指導を教育課程に組み入れて、計画的に取り組んでいる。【資料8】</p> <p>※ 宇和島市から特産品の「養殖マダイ」が送られ、「鯛のムニエル」「鯛どんぶり」に調理し、児童生徒に提供した。 併せて宇和島市水産高校の生徒が食育授業の講師となり、両小学校でオンライン授業が実施された。両校3年生が参加した他、宇和島市の姉妹都市（宇和島市、大崎市、仙台市、千曲市）の4小学校とも交流することができた。</p>	
担当係	学校教育係、一貫教育係、給食センター	

理科学習指導案

日 時 令和3年10月20日(水) 5校時

学 級 当別町立西当別中学校1年B組

男子12名 女子13名 計25名

授業者 高橋 裕子

1. 単元名 単元3 身のまわりの現象 第2章 音の世界

2. 単元観

本単元で取り扱う「音」は、日々の生活と深いかかわりを持ってきた。以前は、感覚的に感じていた音を、科学的に波動(音波)として捉え、現在では超音波を用いた魚群探知や、機器の洗浄、医療機器への応用、リラクゼーション効果など、その研究が私たちの日常生活をより豊かなものにするのに大きく貢献している。音は私たち人類にとってなくてはならないものとなっている。

理科では、自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することをねらいとしている。

本単元は、光や音の規則性、力の性質について理解させるとともに、これらの事物・現象を日常生活や社会と関連付けて科学的にみる見方や考え方を養うことを目標としている。

実験やICTの活用、身近な体験を通して、光・音・力に関する事物・現象に関心をもたせ、疑問を見いださせるとともに、日常生活と学習内容の関係性を理解し、科学性や規則性に気付かせるよう学習を進めていく。

3. 単元の目標

(1) 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。【知識・技能】

(2) 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現する。

【思考・判断・表現】

(3) 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとする。【主体的に取り組む態度】

4. 生徒の実態

本単元で取り扱う「音」は、私たちの日常生活に深いかかわりを持っているが、その現象が「音」の科学的現象を生かしてつくられていることや、「どのような仕組みを利用しているか」までを説明できる生徒は大変少ない。実際、本章の学習を始める前に「物体から出た音が耳まで伝わるしくみを説明できるか」を確認したところ、説明できると答えた生徒は15.9%にすぎない。さらに、本時で取り扱う音の高低に関わる、「ギターで高い音を出すしくみを知っている」と答えた生徒は22.7%であった。

既習内容としても、本時で扱う音に関する現象は、小学校3年生で学習しているが、その際は発音体

が振動することや、振動が変化することを知らずの内容となっており、音の変化を科学的に捉えることははじめての学習である。

1年B組は、活発で自らの意見や疑問を積極的に表現することができる生徒がいる一方、受動的に授業をうける生徒も多くいる。一人ひとりのようすを確認した上で指導しないと、一部の生徒との授業になってしまう。また、話をきくことや、教科書を読んで手順通りに作業を進めることには難があり、安易に教師に質問して問題を解決しようとする受動的なようすが見受けられる。

理科では、感染対策、自分の考えを表現しやすい環境をうみだすこと、実験操作はもちろん準備やかたづけにも多くの生徒が関わり、主体的に授業に参加できるよう、できるだけ小グループを基本とし、実験や観察を進めている。また、科学的に捉えることや、実験・観察を適切に行うもとなる基本的な知識の定着状況は、個人差が大きく、全生徒への着実な定着が求められることから、既習内容のふり返りを含め、学習を進めていく必要がある。

5. 単元指導計画

時数	学習内容	目標と評価方法
1	□グランドピアノの内部の確認やおんさをたたいたときのようすの観察を通して、音を出している物体がどのような特徴を持っているかや、他の物体にどのような影響を与えるかを調べる。	目標 音が出ているときの物体の特徴や、音の伝わり方を調べる。 【主体的に学習に取り組む態度】 評価 発音体のようすを調べる活動の行動観察をする。
2	□秒速340mのきまりを使い、音の速さや伝わる距離を求める。	目標 音の伝わる速さを計算する。 【思考・判断・表現】 評価 机間指導でようすを把握する。 小テストを行い、達成度を把握する。
3 本時	□「【実験4】弦の振動による音の大きさと高さ」の実験を通し、弦をはじく強さや長さ、張りの強さなどが出る音の関係を調べる。	目標 高い音を出すには、どのような条件が必要か考える。 【思考・判断・表現】 評価 実験中の行動観察。 ワークシートの記入状況。
4	□音の大小や高低と、オシロスコープの波形の関連性を知り、音を科学的に捉える。	目標 オシロスコープの波形を読みとる。 【知識・技能】 評価 机間指導でようすを把握する。

6. 研究とのかかわり

(1) 主体的・対話的で深い学びについてのポイント

- ・異なる二音の聞き分けを通し、音の違いに対する興味・関心を高める。【主体的な学び：興味や関心を高める】
- ・モノコードから出る音を変化させる4つの条件を理解し、課題解決に向けた見通しを持つ。
【主体的な学び：見通しを持つ】
- ・グループで実験を行うことを通し、協力して課題の解決と考察を行う。【対話的な学び：協働して課題解決する】

- ・自分たちと他班の考えを比較することを通し、多様な考え方に触れる。【対話的な学び：互いの考えを比較する】
- ・本時のまとめをもとに、学習内容を日常生活に還元する。【深い学び：知識・技能を活用する】

(2) 指導と評価の一体化についてのポイント

- ・ルーブリックを提示し、生徒に明確な評価規準を示す。
- ・ワークシートの記述内容をその都度確認し、生徒・教師ともに定着度を把握する。
- ・一単位時間の最後に、学習内容と日常生活をつなぐ問題を提示し、本時で得た知識や思考力を活用する場面を設定する。
- ・本時の学習を振り返る場面を設定する。

7. 本時の学習

(1) 題材名「第2節 音の性質」

(2) 本時の目標

高い音を出すには、どのような条件が必要かを考えることができる。

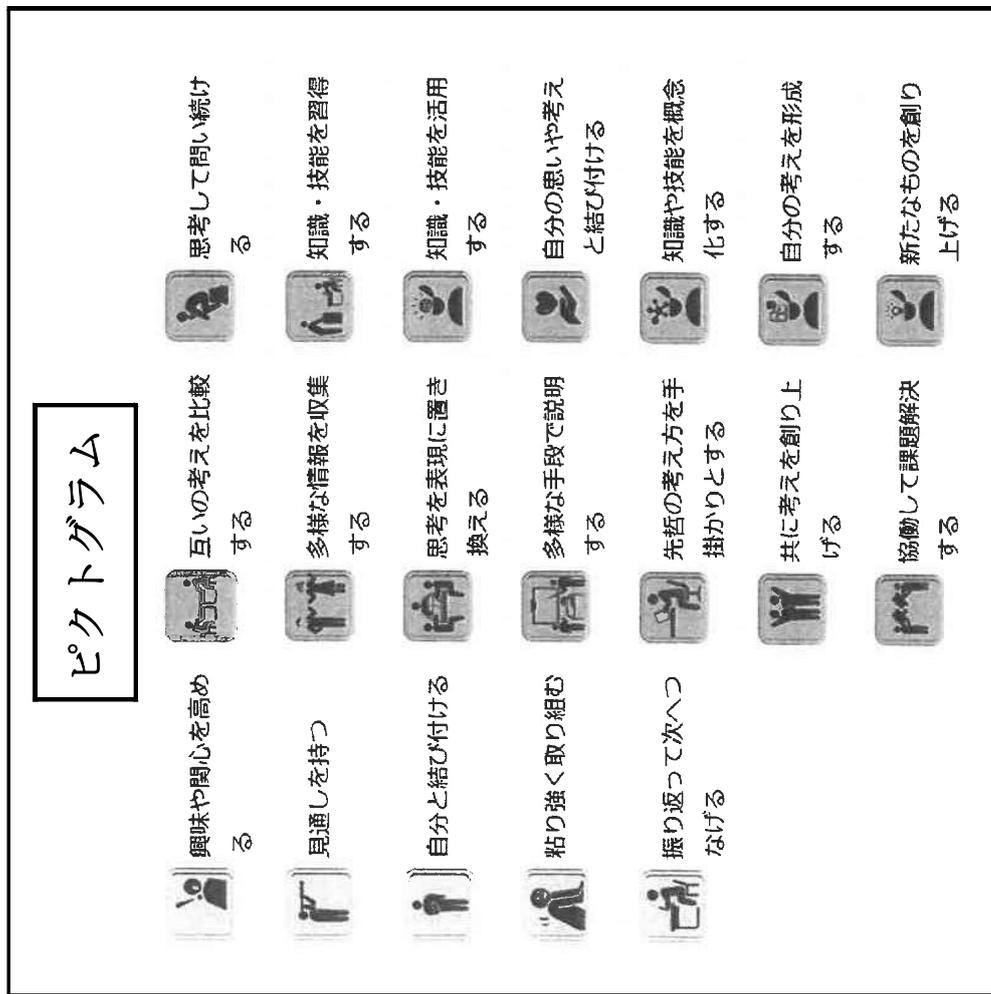
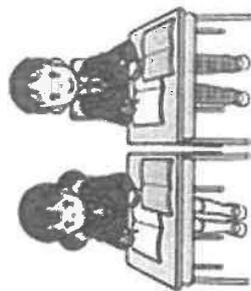
(3) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意点	*評価 備考
導入 7分	<input type="checkbox"/> 音の性質の振り返り 音が出ている物体は、どのような性質を持っているかを思い出す <input type="checkbox"/> 問題提示 2種類の音の提示を通し、違いがあることに気がつかせ、違いはなぜ生じるのかに疑問を持たせる <input type="checkbox"/> 課題把握 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">課題：高い音を出すには、どのような条件が必要か考えよう。</div>	<input type="checkbox"/> 音が出ている物体は振動していることを思い出させる	*評価 備考 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ピクトグラム</div>  興味や関心を高める
展開 33分	<input type="checkbox"/> 見通す ・実験手順の確認および考察の見通し ・音を変化させるための4つの条件を提示する 「弦の長さ」「弦の太さ」「弦の張り」「弦をはじく強さ」 <input type="checkbox"/> 実験 モノコードを使用し、条件を変えて「高い音が出る条件」を調べる <input type="checkbox"/> 考察 モノコードを使って出した音から、「高い音が出る条件」を考え、班でまとめる	<input type="checkbox"/> 道具と実験方法の説明を行う <input type="checkbox"/> モノコードの弦の張りに注意させる <input type="checkbox"/> すべての条件を使うとは限らない <input type="checkbox"/> 条件の個数に留意する	 見通しを持つ  協働して課題解決する *実験結果を考察し高い音が出る条件を見いだすことができたか

	<input type="checkbox"/> 実験結果の確認 班の考えを、他班と比較し、全体で共有する	<input type="checkbox"/> C評価への手立て 条件の個数を意識させる	【思考・判断・表現】  互いの考えを比較する
まとめ 10分	まとめ：高い音を出すには、弦の長さは短くし、弦の太さは細くし、弦の張りを強くするとよい。弦をはじく強さは、関係ない。		
	<input type="checkbox"/> 定着 本時の学習内容をもとに、グランドピアノの 高い音が出る鍵盤につながっている弦は、 どんな弦か考える	<input type="checkbox"/> グランドピアノ の構造を思い出させ、確認する	 知識・技能を活用する <input type="checkbox"/> ノート回収

振り返りの視点

- ☆新しくわかった・できたこと
- ☆自分がどんな成長をしたか
- ☆成長できたのはなぜか
- ☆発見した解決方法
- ☆友達の良さや姿から学んだこと
- ☆今日の学びをいかす方法
- ☆生活と結びつけられること
- ☆社会や世界とのつながり
- ☆さらに学んでみたいこと
- ☆その他



令和2年度 当別産食材の活用

今年度も当別町内の農家さんやJA北いしかりにご協力いただき、当別産の旬の野菜を使った給食を提供しました。

使用した当別産食材

ごはん、豚肉、ベーコン、アスパラガス、もやし、胡瓜、トマト、じゃがいも
らいおんしいたけ、かぼちゃ、キャベツ、とうもろこし

今年度初めて使用した当別産食材

大豆、鹿肉

○アスパラ豚丼

浅野農場さんの豚肉とアスパラを使用し、初めてアスパラ豚丼を提供しました。とうもろこしも当別産です。

実施日：8月19日

献立名：アスパラ豚丼、牛乳、具だくさん味噌汁、とうもろこし



令和2年度 食育指導 実施報告

学年	題 材	実施クラス/日時
1 年 生	目指せ！マナーの達人	・当別小学校/11月19日 ・西当別小学校/6月22日
2 年 生	当別町野菜の秘密	・当別小学校/11月20日 ・西当別小学校/8月4日
3 年 生	食べ物の3つの働き	・当別小学校/11月11日 ・西当別小学校/7月29日
4 年 生	ジュースお菓子の甘い罠	・当別小学校/11月13日 ・西当別小学校/8月3日
5 年 生	朝ごはんをめざましスイッチオン！	・当別小学校/11月17日 ・西当別小学校/8月3日
6 年 生	修学旅行でのバイキングのマナーについて	・西当別小学校/8月4日
	中学生に向けての食事・セレクト給食	・当別小学校/2月12日 ・西当別小学校/2月19日
中 学 1 年 生	スポーツと栄養	・当別中学校/10月15日 ・西当別中学校/10月6日
中 学 2 年 生	生活習慣病と予防	・当別中学校/10月21日 ・西当別中学校/10月29日
中 学 3 年 生	受験と栄養・セレクト給食	・当別中学校/12月11日 ・西当別中学校/11月6日

1人1台端末を活用した授業についてご紹介します。

【当別小学校】

教科書のQRコードを読み取って問題を解いたり、朝学習の課題配信・回答をGoogle Classroom上で行ったり、Google Meetを活用して校内探検を行ったりするなど、様々な場面で、1人1台端末の機能を活用しています。



【西当別小学校】

調べ学習やグループワークで活用しています。理科の授業では、植物の生長を写真撮影し、観察学習に活用していました。



【当別中学校】

様々な教科で、1人1台端末を活用しています。英語の授業では、音読テストの録音・提出で使用しました。家庭科の授業では、動画で縫い方を確認しながら作業をしていました。動画を巻き戻して内容を確認できるため、授業内容の定着につながっています。



【西当別中学校】

修学旅行のまとめ学習で、Googleスライドを活用してプレゼンテーションを行いました。プレゼンテーションを聞く生徒も、1人1台端末を使ってメモを取っていました。



とうべつ未来学 学習内容一覧

内容	ふるさと教育	想定教科等	想定時数	国際理解教育	想定教科等	想定時数	キャリア教育	想定教科等	想定時数	想定時数合計	総合の時数
	当別町の歴史・文化・自然・産業・科学等を知り、まちづくりへ参画する。			外国語を活用し、異文化理解とコミュニケーション能力を育成する。			自分の人生をデザインし、世界でたくましく活躍できる人を育成する。				
9年生	SDGsの視点から当別町のエキスパートになろう！ ・卒業論文的なプレゼンテーションを行い、9年間の集大成となる発表を目指す。	総合	15 +α	外国人に日本文化や当別町を紹介	外国語	6	進路(入試に向けて)	総合 学活	13	28	70
8年生	SDGsの視点から当別町のエキスパートになろう！ ・7年次の17のゴールを知るとJICA訪問踏まえ、自分が当別町のどの分野でエキスパートになるかを選択・探求	総合	15 +α	SDGsについて理解を深め、英語でプレゼン	外国語	6	職場体験 高校説明会	総合	8 2	25	70
7年生	SDGsの視点から当別町のエキスパートになろう！ ・SDGs 17のゴールを知る	総合	15 +α	JICA訪問	総合	8	職業学習(農業含む) 進路(職業調べ)	総合	8 2	33	50
6年生	修学旅行を通して、当別町と小樽市を比較しよう！	総合	33	・JICA出前講座	道徳	1	自分探しの旅 ～未来の自分へ～	総合	25	58	70
5年生	道民の森での宿泊学習を通して、当別の自然と環境を学ぼう！	総合	40	・スウェーデン交流センター訪問 ・レクサンド市について学ぶ	外国語 総合	訪問 4 授業 1	どんな仕事があるのかな ・福祉の仕事 ・林業体験	総合	15	60	70
4年生	大豆博士になろう ・大豆生産体験 ・大豆加工体験	総合	20	自国の文化に愛着をもち、様々な国の文化への理解を深める ・世界の学校調べ(当小) ・国際交流教室(当小) ・ユニセフによる出前授業(当小) ※外国語の時間で、いろいろな国の挨拶について扱う	総合	25	大豆博士になろう ・大豆生産体験 ・大豆加工体験	総合	20 再掲	45	70
3年生	「お米博士になろう」 ・田植え、稲の観察、脱穀体験 ・JAの方々と「おにぎり集会」の開催	総合	15	自国の文化に愛着をもち、様々な国の文化を知る ・国際交流教室(当小) ※外国語の時間で、いろいろな国の挨拶について扱う	総合	20	「お米博士になろう」 ・田植え、稲の観察、脱穀体験 ・JAの方々と「おにぎり集会」の開催	総合	15 再掲	35	70
2年生	町が大好き探検隊 ・商店街 ・図書館	生活	20	英語に親しみ、話すことや聞くことに慣れる	外国語活動(教育課程外時数)	10	どんなお仕事してるかな ・まちたんけん ・地域インタビュー ・仕事体験	生活	20	50	生活 102
1年生	季節と仲良し ・公園体験など	生活	37	英語に親しみ、話すことや聞くことに慣れる	外国語活動(教育課程外時数)	10	かぞくにここは大きくせん ～できることじょうせん～ もうすぐ2年生 ・新入学児童との交流	生活	25	72	生活 105

キャリアノートの活用

当別町立小・中学校

キャリア・ノート



がくねん	くみ	ばんごう
1		
2		
3		
4		
5		
6		

学年	組	番号
7・中1		
8・中2		
9・中3		

なまえ・名前

いちねんせいの みなさんへ

いよいよ がっこうでのせいかが はじまりました。
がっこうでは ともだちといっしょに なかよくべんきょう
したり うんどうしたりします。だれとでもなかよく
ちからをあわせて がんばることが できるように
せんせいたちも おうえんしていきます。

この の一とは みなさんのせいちょうを きろくするため
のものです。せんせいたちも この の一とをみながら
みなさんのせいちょうを みまもっていきます。

しょうがっこうせいかがで がんばってほしいこと

- ともだちと なかよくしましょう
べんきょうやうんどう なんでもなかよく がんばろう
- はじめてのことに ちゃれんじしましょう
さいしょは しんぱいだけど ゆうきをもって
ちょうせんしよう
- わからないことは しつもんしましょう
みんなが たすけてくれます どんどん
しつもんしよう
- すすんで べんきょうやおてつだいをしましょう。
がっこうはもちろん いえでも べんきょうしよう。

目標を決める

「なりたい自分」について考え、
目標を決めよう

令和 年 4 月 日 現在

おとな 大人になったら わたし 私はこんな自分になりたい！
じぶん

※児童の実態に合わせて、適宜
データを加工する

「なりたい自分」になるための今年の目標を決める

がくしゅう
学習について

もくひょう 目標	そのためにがんばりたいこと
.....
.....
.....

せいかつ
生活について

もくひょう 目標	そのためにがんばりたいこと
.....
.....
.....

なりたい自分に関係のあるキャリア学習()

『めあて』	そのためにがんばりたいこと
.....
.....
.....

いま かんが しょうらい ゆめ もくひょう
今、考えている将来の夢や目標

おとな 大人になったらなりたいもの(こんな人になりたい・・・など) ひと	仕事の名前(わかる場合)
.....

前期をふりかえる

前期をふりかえり、「なりたい自分」につなげよう

令和 年 月 日 現在

4月に書いた「大人になったら 私はこんな自分になりたい！」に変化はあったかな？

前期の目標についてふりかえり後期の目標を決める

4月に記入した目標を読みながら考えよう。

がくしゅう
学習について

◎よくできたこと

△あまりよくできなかったこと

後期の目標

せいかつ
生活について

◎よくできたこと

△あまりよくできなかったこと

後期の目標

なりたい自分に関係のあるキャリア学習()

◎よくできたこと

△あまりよくできなかったこと

いま かんが しょうらい ゆめ もくひょう
今、考えている将来の夢や目標

大人になったらなりたいもの(こんな人になりたい…など)

仕事の名前(わかる場合)

後期をふりかえる

自分をふりかえり、「なりたい自分」につなげよう

令和 年 3 月 日 現在

月に書いた「大人になったら 私はこんな自分になりたい！」に変化はあったかな？

後期の目標についてふりかえり来年の目標を考えよう

月に記入した目標を読みながら考えよう。

学習について

◎よくできたこと

△あまりよくできなかったこと

次の学年での目標

生活について

◎よくできたこと

△あまりよくできなかったこと

次の学年での目標

なりたい自分に関係のあるキャリア学習()

◎よくできたこと

△あまりよくできなかったこと

今、考えている将来の夢や目標

大人になったらなりたいもの(こんな人になりたい…など)

仕事の名前(わかる場合)

私のあしあと(1年)

自分の成長をのこそう。
「なりたい自分」をめざそう！

自分の成長をふりかえりましょう。(1年間でできたことを中心に書こう。)

項目	内容(どんなことができましたか) 理由(よくできるようになったわけ)
係活動	
委員会活動 (4年生以上)	
好きな教科	
きょうみ・関心があること	
家庭や地域	
ならいごと・資格 すきなこと	
こんな()年生になったこと	
あこがれる 仕事や夢 (書ける人)	

1年間で一番心にのこっていることや思いどおりにできなかったこと、
そして、そこから学んだこと、いかしたいことをまとめましょう。

一番心にのこっていることや思いどおりにできなかったこと

学んだこと・いかしたいこと

令和3年度当別町立西当別小学校 体力向上プラン

1 学校の教育目標及び目指す学校像

- ◎教育目標と児童のめあて
 心ゆさぶる感性【心】 (のびのび語り合う子)
 学びを求める知性【学び】 (ぐんぐん学び合う子)
 生き方をみがく個性【生き方・体力】 (もりもりきたえ合う子)
- ◎めざす子ども像
 自らの力で人生をデザインできる子ども
 しっかりとコミュニケーションができる子ども
 地域を愛し、地域の良さを紹介できる子ども

2 児童生徒の体力の状況

令和2年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(全国平均は令和元年度の記録)

令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査が中止となり、全国的な傾向はわからないため、令和元年度のものと比較している。本校の体力調査についても、コロナ禍の影響により、できない種目もあったため、できた種目のみの考察となる。

【体格】		身長(cm)	体重(kg)			身長(cm)	体重(kg)
5年男子	全国平均	141.29	37.6	5年女子	全国平均	140.83	35.16
	本校平均	139.73	36.14		本校平均	141.76	35.98

【体力】		全国平均より、大きく上回っている◎ 上回っている○ 下回っている△ 大きく下回っている▲								
		握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(点)	シャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅跳び(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
5年男子	全国平均	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
	本校平均				▲38.88		▲10.08	△149.96	○22.30	
5年女子	全国平均	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
	本校平均				▲38.23		▲10.36	145.45	○15.05	

- ・体格については、男女ともほぼ全国平均並みであると言える。肥満・痩身傾向については、男女ともにほとんどの子がバランスよく成長している。
- ・反復横跳びや50m走、立ち幅跳びなど、令和元年の全国平均を下回った。3か月の臨時休校期間や、体育科の授業の制限の影響は大きいと見られ、全体的に体力が落ちている様子が伺われる。すべての種目を行っているわけではないので一概には言えないが、現調査を鑑みると、脚力に課題が見られる傾向にある。
- ・ボール投げについては、「ふれ・スポ・とうべつ」の協力を得て、専門的な指導を受けてから実施・測定した成果が、全国平均を上回ることができた。

3 体力向上に向けた目標

- 体を動かす楽しさや仲間と協力して運動する喜びを味わわせ、運動への関心意欲を高めるとともに、生涯スポーツの基礎を作る。
- 学校や家庭がそれぞれの役割分担を果たしながら相互に連携し、一体となって児童の体力アップを進める。
- 「運動が好き」と回答する子を、男女とも全国平均以上にする。
- 男子児童の各種目の平均点を、全国平均以上にする。

4 体力向上に向けた取組の内容

- ① 1校1実践「なわとび」の取組
 - 体育の時間の最初に体づくりとして行う。また、休み時間に自主的に取り組める場を設ける。
 - 「なわとび集会」の実施による、児童への意欲付けを行う。
- ② 児童の活動、保護者との連携の中で行う体力づくり
 - 異学年交流等では、楽しんで体を動かす内容を計画・実施する。
 - PTA事業では、保護者と児童が一緒に参加する運動の場を設定する。
- ③ 外部人材の活用等のとりくみ
 - 新体カテスト・水泳学習・スキー学習では、外部指導者を活用し、きめ細かい指導と運動量の確保を目指す。

5 体力向上に向けた取組の計画

領域等 時期	教科（体育）	児童の活動	保護者・外部人材との連携	その他
4月	体育の授業における約束事 なわとびの取組 (準備運動)	体育館・グラウンド での集団遊び (学級づくり)	「早寝・早起き・朝 ごはん」の生活習慣 啓発	
5月	新体カテストの実施 (外部人材活用) 運動会の取組	ふれあい集会(異学 年交流での遊び)		
6月	新体カテストの実施 (外部人材活用) 運動会の取組 なわとびの取組	なわとびカードの活用	水泳学習(外部人材活用)	生活習慣アンケート の実施
7月	新体カテストの実施 (外部人材活用) なわとび検定①	全校なわとび集会	水泳学習(外部人材活用) PTA学級スポーツ レクの実施	生活リズムチェック シートの活用の呼び かけ 食育授業の実施
8月	新体カテストの分析		水泳学習(外部人材活用)	生活リズムチェック シートの点検
9月	なわとびの取組	なわとびカードの活用		食育学習(低)
10月	なわとび検定②			
11月		ふれあい集会(児童 の手によるアスレチ ックゲームなど)		食育学習(中)
12月	今年度の取り組みの 評価	学年スポーツ大会 (大縄とびなど)		生活リズムチェック シートの活用の呼び かけ
1月	スキー学習 授業への取り組みの 検証	冬の外遊び (学級づくり)	スキー学習 (外部人材活用)	生活リズムチェック シートの点検
2月	次年度の方向性検討		スキー学習 (外部人材活用)	食育学習(高)
3月	令和4年度年間計画 の作成			

令和3年度 食育指導計画

学年	題 材	目 的	内 容
1 年 生	楽しく食べよう (45分)	正しい箸の持ち方、使い方を知り実践しようとする意欲をもつ。	食事のマナーや箸の使い方について行う予定です。マナーではイラストを見て日々の給食時間を振り返ります。箸の使い方では、スポンジつかみゲームを取り入れ学んでいきます。
2 年 生	当別のおいしい野菜のひみつを見つけよう (45分)	野菜のもつ働きについて関心を持ち、野菜をしっかり食べようとする意欲をもつ。	当別町で作られている野菜がたくさんあることを知り、野菜にはどんな働きがあるか、食べないとどんなことがおこるかを考えます。そして、給食の野菜を食べようという意識を高めていきます。
3 年 生	3つの働き (45分)	食べ物には3つの働きがあることを知り、バランスよく食べる大切さを学習する。	赤の食品（体をつくる）黄色の食品（体のエネルギーとなる）緑の食品（体の調子を整える）3つの食品を学びます。バランスよく食べることの大切さを学んでいきます。
4 年 生	ジュースお菓子の甘いわな (45分)	おやつやジュースに含まれる砂糖の量に関心を持ち、おやつを選ぶ知識を身につけます。本来、おやつとは不足しやすい栄養を補うためのものということを学習する。	ジュースとお菓子の砂糖の量について知り、今後の目標を設定します。実際の砂糖の量を見て、砂糖の取りすぎから体に起こる症状を学びます。
5 年 生	カルシウムを摂ることの大切さを知ろう (45分)	カルシウムの大切さを知り、摂取の必要性和方法を学習する。	骨を強化できるのは、20歳頃がピークであることを知り、成長期である今時期から、習慣的にカルシウムを摂取していく必要性を考えていきます。またカルシウムを多く含む食品についても学び、いろいろな食品から摂取する方法も学びます。

6年生	<p>食事バランスと食事のマナー</p> <p>・バイキング給食(45分)</p> <p>※事前に食べるものを決めてもらうセレクト給食へ変更になる可能性があります。</p>	<p>栄養バランスの良い食事の組み合わせを知ることにより、健康や成長を考えた食事にしていこうと考え、自分の生活の中で実践する意欲をもつ。</p>	<p>主食・主菜・副菜を学び、バランスの良い食事にするにはどうしたらいいかを考えていきます。実際のバイキング給食にむけてバランスのよい献立を立てます。バイキングのマナーについても学びます。</p> <p>※バイキング給食の準備がありますので、バイキング給食の日の4時間目を、食育授業としてください。</p>
中学1年	<p>スポーツと栄養(50分)</p>	<p>運動と栄養の関わりを学び、運動効果を上げるために食生活を改善しようとする意欲をもつ。</p>	<p>運動と栄養の関係をすることで、自らに必要なエネルギー量とその消耗について勉強します。健康な体作りについて学んでいきます。水分補給のタイミングや効果的な栄養の取り方を学びます。</p>
中学2年	<p>生活習慣病とその予防(50分)</p>	<p>健康な生活と疾病の予防について関心を持ち、自身の課題を見つけ出し、課題解決をしようとする意欲をもつ。</p>	<p>生活習慣病発症の原因となる、油が私たちの体にどうかかわるかを学び、これからの食生活を見直す。肉の脂と魚の脂の違いに触れ、生活習慣病を防ぐための食習慣を考えます。</p>
中学3年	<p>受験と食事(50分)</p> <p>※事前に食べるものを決めてもらうセレクト給食へ変更になる可能性があります。</p>	<p>毎日取り入れてほしい食品を学習し、自然と栄養バランスのとれた食事を実践する意欲をもつ。</p>	<p>受験を控えた3年生が体調を整え、受験にむけて準備できるように食事や生活習慣にかかわるアドバイスをを行います。また、バイキング給食のマナーやバランスの良い食事の大切さを学んでいきます。</p> <p>※バイキング給食の準備がありますので、バイキング給食の日の4時間目を、食育授業としてください。</p>

【社会教育分野】

令和2年度の点検及び最終評価 P 43～

令和3年度の点検及び中間評価 P 49～

資 料 P 52～

点検項目	多彩な生涯学習プログラムの展開	
2年度 達成目標	【達成指標】 ことぶき大学各事業参加率 70%以上	
具体的 取組	1 地域や当別高校、北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携及び人材活用 2 歴史・文化プロジェクトによる古文書解析 3 多世代交流事業（高齢者の生きがいがづくり）の推進	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった	達成に向けて進展があった
自己評価	<p>【進捗状況】</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症によって事業の中止や制約を受けるなど影響は大きいですが、できる範囲での実施をしながら、町民の生涯学習を止めないよう、今後も多方向と連携していく。</p> <p>2 吾妻家文書については令和3年度の公開を目指している。一般公開に向け史料整理や公開に関する規定制定の準備を進めている。また、「歴史学習講座」は、吾妻家文書の研究をテーマに継続的に実施しており、町民の古文書解析力の向上に結びついている。</p> <p>3 「ことぶき大学」は、2か月のブランクはあるが、感染症対策に万全を期しながら、前期7回の講座を実施することができた。後期も学びを止めないよう工夫</p>	<p>【成果】</p> <p>1 年間通じて新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という）の影響が大きく、予定していた事業の約半数を中止した。このような状況下、「北海道医療大学 塚本容子氏」を講師に迎えた連携講座「新型コロナ感染予防」を実施した。最新の知見に基づいたウイルスの特徴や感染予防など、町民に有益な情報を伝える貴重な機会を提供することができた。</p> <p>【資料1-①】</p> <p>2-(1) 令和3年4月からの吾妻家文書の一般公開に向け、史料整理や規則制定が完了した。特に人権を侵害するおそれのある文書に対して利用制限するなど、プライバシーにも配慮した。</p> <p>2-(2) 「歴史学習講座」の開催は4年目となり、町民の古文書に対する関心や解析力の向上に結びついている。新型コロナの影響により11月～3月は中止したが、資料を配布し自主学習を促した。</p> <p>【資料1-②】</p> <p>3 「ことぶき大学」は、人数を分けて2部制で行う、黙々と作業できるモノづくりを取り入れるなど、新型コロナ対策の制限がある中でも工夫して開催した。新</p>

	中間評価	最終評価
	<p>していきたい。</p>	<p>型コロナが拡大した 10 月～3月の多くの講座は中止としたが、学習資料「健やかことぶき」など定期的に発行し、参集できない中でも高齢者の生きがいがづくりに寄与することができた。</p> <p>コロナ禍によって、講座を開催しても参加を自粛する方がいたことで参加率については 57.2%となったが、参加者アンケートでは、5段階中の平均 4.7 と非常に満足度は高い。【資料 1-③】【資料 2】</p> <p>【課題】</p> <p>1～3 共通</p> <p>新型コロナの影響により、中止を余儀なくされる、開催した場合も参加自粛する方がいる、内容に制限があり多彩なプログラムを組むことができないなど、生涯学習を推進する上で課題は多い。感染症対策は今後も継続していく。</p>
今後の方向性		<p>1 Zoom や YouTube などを活用した「オンライン講座」など、コロナ禍における生涯学習の推進方策について研究する。</p> <p>2 新型コロナ対策として、施設の利用制限、事業の開催可否など、適切に対処していく。</p>
担当係	生涯学習係、文化財保護係	

点検項目 三課横断「児童生徒、学校及び家庭支援」		
2年度 達成目標	【達成指標】 学校要望 100% 家庭学習習慣全国平均以上	
具体的 取組	1 小学校、中学校の授業への講師派遣 2 土曜教室の充実（地域巡検の実施） 3 多世代交流事業（伝統文化の継承、子育て支援）	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった	達成に向けて進展があった
自己評価	【進捗状況】 1 講師派遣については、学校の要望に全て応えることができた。特に中学校ではミシン実技への講師派遣は好評であった。 今後も学校の要望に 100%応えるべく準備を進める。 2 土曜教室は、新型コロナウイルス感染症の影響により、5・6月の2回を中止とした。7月のふるさとの魅力を再発見する「地域巡検」は実施することができた。小学生 16名の参加があり好評であった。後期も様々な体験学習の機会を提供する。 3 小学校運動会の規模縮小、町内イベントの中止によって、伝統文化（当別音頭等）発表の機会が失われた。後期においては、発表の機会を設け、コロナ禍においても保護者、子どもたちとの交流を進めたい。	【成果】 1 新型コロナの影響で中止となった授業（プール授業、放課後学習会等）を除き、講師については 100%派遣できた。 【資料 3】 2 土曜教室は、新型コロナ対策により 10月～3月の教室を中止とし、年2回の開催になった。 【資料 4】 3 年間通じて新型コロナの影響が大きく、多世代交流や伝統文化の継承の機会を作ることが難しい状況であった。人と人との交流活動はできなかったが、10月～11月に「当別町子ども作品展」を開催し、芸術鑑賞の機会や、文化に親しむ場を提供することができた。 【課題】 1 ボランティアの高齢化に伴い、新たな人材の発掘が課題である。

	中間評価	最終評価
		2～3 コロナ禍において感染症対策は今後も継続した課題である。
今後の方向性		1 新型コロナの有無に関わらず、各学校から要望には引き続き 100%応えられるよう体制を整える。 2・3 Zoom や YouTube などを活用したオンラインでの教室開催、伝統文化の継承や子育て支援について研究を進める。
担当係	生涯学習係、学校教育係、一貫教育係	

点検項目	読書活動の推進	
2年度 達成目標	【達成指標】 児童生徒一人当たりの貸出図書数の増	
具体的 取組	1 子どもの読書活動推進 2 司書による図書館及び学校図書室の活性化	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて相当な進展があった	達成に向けて相当な進展があった
自己評価	<p>【進捗状況】</p> <p>1 次のとおり図書館内部の改修を進めた。</p> <p>(1) 児童コーナーの拡大</p> <p>(2) 企画展示コーナーの新設</p> <p>(3) 自習スペースの増設</p> <p>(4) エントランス展示のリニューアル</p> <p>(5) レイアウトを一新し開放的なスペースを演出</p> <p>2-(1) 図書館の改修に司書の意見を取り入れ充実したリニューアルができた。後期の利用増につなげたい。</p> <p>2-(2) 学校図書館については2か月のブランクはあったが、閉校期間の図書貸し出しなど一定の役割を果たした。</p>	<p>【成果】</p> <p>1 図書館内部の改修によって、次のとおり大幅に図書館サービスが向上した。</p> <p>(1) 児童コーナーの拡大によって親子でゆっくりと本を選ぶ姿が多く見られた。</p> <p>(2) 季節ごとに企画展示コーナーを設置することで飽きずに多様な本に触れる機会を作ることができた。【資料5】</p> <p>2-(1) 図書館内部改修にあたっては、図書館司書の専門性を活かすことで、上記成果を得ることができた。</p> <p>2-(2) 新型コロナの影響によって、学校図書館への派遣回数は減少したが、閉校期間の図書貸し出し、図書整理支援など一定の役割を果たした。</p> <p>2-(3) 新型コロナの影響によって、図書館を臨時休館した際には、Web予約による事前申込みによる図書貸し出しを行った。</p> <p>【課題】</p> <p>1-(1) 新型コロナの影響によって図書館の休館が多く、貸出図書冊数としては18.5%減になった。</p> <p>1-(2) 令和元年度に実施した「全国体力運動能力・運動習慣調査」の結果より、子どものスマートフォン3使用時間、テレビ・ゲーム使用時間が長いことから、</p>

	中間評価	最終評価
		<p>家庭での読書時間が短くなったと推測される。</p> <p>2 限られた勤務時間の中で司書の専門性を活かすため、相互貸借や図書システム登録など煩雑な日常作業の効率化を進める必要がある。</p>
今後の方向性		<p>1 読書習慣は日常の生活を通して形成されることから、見やすい「うちどく通信」の発行などで、家庭に対して継続的に啓発活動を行う。また、企画展の開催や、おすすめ本の紹介などにより、図書館の利用者増、貸出冊数増を目指す。</p> <p>2 司書中心に、図書館運営の工夫や、興味関心を高める図書選書、学校図書館支援活動などを行い、図書館及び学校図書室の活性化に努める。</p> <p>3 図書館を臨時休館した際の貸出しの工夫について研究する。</p>
担当係	生涯学習係	

点検項目		新たな生涯学習プログラムの展開	
3年度 達成目標	【達成指標】 新たな連携事業の展開、各事業参加者満足度 80%以上		
具体的 取組	1 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携、地域の人材の活用 2 「当別歴史・文化プロジェクト」の推進（歴史研究、学習講座や講演会の開催） 3 多世代交流事業（高齢者の生きがづくり・家庭教育支援）の充実 4 図書館活動活性化のための各種事業の実施		
	中間評価		最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて相当な進展があった		
自己評価	<p>【進捗状況】</p> <p>1 「小中高大生 TOWN ミーティング」では、各学校、関係機関と連携して当別町 150 周年記念事業に取り組んでいる。動画制作、記念メニューの開発など、充実した内容を展開できている。</p> <p>【資料 6-①】【資料 7】</p> <p>新たな取組みとして、部活動指導に地域人材を活用する「地域運動部活動推進事業（スポーツ庁モデル事業）」を展開している。学校や受託業者、地域人材と連携し、後期の実践に向けて準備を進める。</p> <p>【資料 8】</p> <p>2 (1) 「歴史学習講座」は、新たに「実践編」を開講し、過年度に中級編を受講してきた参加者が、その経験と知識を活かして未解読文書の解読を進めている。また、Zoom を使用してオンラインによって講座を開催することで、コロナ禍における新たな生涯学習の機会を提供できた。【資料 6-③】</p> <p>(2) 吾妻家文書の一般公開については、公開規則に基づき閲覧申請のあった資料を適切に公開している。</p>		

	中間評価	最終評価
	<p>3 「ことぶき大学」は、新型コロナの影響により、前期の予定講座は全て中止した。高齢者の参加者はスマートフォン等の所持率が低く、オンラインでの講座実施が難しい面があるが、通信の定期発行など、できる限りの情報発信に努めた。 【資料6-④】</p> <p>4 新たな取組みとして、読書に対する興味関心を高めることを目的に「POPコンテスト」を開催した。245名の参加があり多くの力作が出品された。この他にも企画展の実施等により、図書館利用促進を図る。【資料6-⑤】【資料9】</p>	
担当係	社会教育係	

点検項目		地域学校協働本部事業による児童生徒、学校支援	
3年度 達成目標	【達成指標】 学校要望 100%達成、児童生徒貸出図書数の増		
具体的 取組	1 地域学校協働本部事業による授業への講師派遣 2 放課後学習会、土曜教室、イングリッシュ・プロジェクト等の充実 3 学校運営協議会に対する支援 4 図書館司書の学校派遣		
	中間評価		最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて相当な進展があった		
自己評価	【進捗状況】 1 授業への講師派遣については、新型コロナの影響により、前期は学校からの要望が無かった。 後期は、学校の要望に 100%応えるべく準備を進める。 2 各事業ともに、新型コロナの影響により、その多くを中止せざるを得なかった。 放課後学習会や土曜学習会については、比較的感染が少ない時期に対策をした上で実施し、基礎学力の向上と学習習慣の定着を図った。 3 社会教育指導員が、学校運営協議会委員として参画した。新型コロナの影響によって協議会の開催はなかった。 4 毎週1回各小中学校に司書を学校に派遣し、図書整理などの図書支援活動を行った。 また、とうべつ学園メディアライブラリーの開設準備においては、館内レイアウトなど、司書の意見を反映させながら今後も進める。		
担当係	社会教育係		

令和2年度 多彩な生涯学習プログラムの展開（事業実績）

① 北海道医療大学連携講座

	日程	事業名	対象者	参加人数
1回目	6/21（日）	染物講座	一般向け	中止
2回目	7/31（金）	骨伝導に関する講座	小学生向け	中止
3回目	9/17（木）	音楽で楽しく脳や体を動かしましょう	高齢者向け	34
4回目	9/26（土）	染物講座	一般向け	中止
5回目	10/15（木）	いつまでもいきいきと暮らすために	高齢者向け	31
6回目	12/25（金）	インフルエンザ流行時期の新型コロナウイルス感染予防 （会場受講とZoom受講 併用型）	一般向け	36
7回目	1/7（木）	小学生1日歯医者さん	小学生向け	中止
			合計	101

② 当別町歴史学習講座

	日程	コース	参加人数	コース	参加人数	参加人数小計
1回目	5/16（土）	中級（第1回）	中止	初級（第1回）	中止	中止
2回目	6/13（土）	中級（第1回）	12	初級（第1回）	19	31
3回目	7/18（土）	中級（第2回）	22	初級（第2回）	24	46
4回目	8/22（土）	中級（第3回）	21	初級（第3回）	23	44
5回目	9/19（土）	中級（第4回）	20	初級（第4回）	23	43
6回目	10/17（土）	中級（第5回）	16	上級（第1回）	17	33
7回目	11/21（土）	中級（第6回）	中止	上級（第2回）	中止	中止
8回目	12/19（土）	中級（第7回）	中止	上級（第3回）	中止	中止
9回目	1/16（土）	中級（第8回）	中止	上級（第4回）	中止	中止
10回目	2/20（土）	中級（第9回）	中止	上級（第5回）	中止	中止
11回目	3/13（土）	中級（第10回）	中止	上級（第6回）	中止	中止
					合計	197

③ことぶき大学

	日程	事業名	参加人数
1回目	6/26 (金)	開講手続き	47
2回目	7/10 (金)	スポーツにドラマあり	40
3回目	7/31 (金)	体力テスト	33
4回目	8/7 (金)	絵手紙教室	21
5回目	8/21 (金)	アダブデットスポーツ	37
6回目	9/4 (金)	パークゴルフ	25
7回目	9/25 (金)	パステルアートで年賀状づくり	22
8回目	10/22 (木)	アロマで消臭&お掃除	中止
9回目	11/6 (金)	音楽を楽しもう①	37
10回目	11/20 (金)	リースづくりと冬の鉢花管理	中止
11回目	12/11 (金)	和のフィットネス	中止
12回目	1/15 (金)	新年お楽しみ会	中止
13回目	1/22 (金)	音楽を楽しもう②	中止
14回目	2/19 (金)	ソープカービング	中止
15回目	3/12 (金)	修了式	中止

ことぶき大学 課外・特別講座

	日程	事業名	参加人数
1回目	6/29 (月)	西当別小・中学校合同道徳	中止
2回目	9/17 (木)	医療大学連携講座① 音楽で楽しく脳や体を動かしましょう	31
3回目	10/3 (土)	当別フットパス	中止
4回目	10/15 (木)	医療大学連携講座② いつまでもいきいきと暮らすために	31
5回目	12/25 (金)	医療大学連携講座③ インフルエンザ流行時期の新型コロナウイルス感染予防	13

ことぶき大学 多世代交流

	日程	事業名	参加人数
1回目		今年度はすべて中止	
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			

健やかことぶき

「まだまだ自分再発見！ 広げよう、学びと仲間の輪！」

ことぶき大学情報紙

第 11 号

令和2年11月6日
当別町教育委員会

暦の上では11月はもう冬。特に北海道はこれからますます日が短く、寒さも厳しくなっていきます。また、冬場は暖房等で空気が乾燥する時期です。この冬の寒さと乾燥が、私たちには大敵となります。今回は、冬の寒さと乾燥が体に与える影響について大まかにまとめます。

寒さと乾燥が身体に与える影響とその対策

☆寒さが身体に与える影響

- ①体温が下がることによる免疫低下……コロナウイルス、インフルエンザなどの感染症に注意
- ②身体の冷えによる血行不良……肩こりやひざなどの痛み
- ③トイレ、玄関、浴室等の温度差……血圧の上下による「ヒートショック」→心筋梗塞・脳卒中

☆乾燥が身体に与える影響

- ①ウイルスの活動が活性化（ノロウイルスにも注意）
- ②「乾燥肌」などの皮膚トラブル
- ③湿度低下による脱水症状



これらの影響を防ぐための対処法としては、次のようなことが挙げられます。

- ☞体を冷やさないために吸湿性の良い素材を重ね着し、こまめに脱ぎ着できるようにする。
- ☞殺菌と消毒……手指の消毒はもちろん、食品の加熱もしっかりと。
- ☞マスクの着用……ウイルスを防ぐだけでなく、口の中が乾燥するのを防ぎのど粘膜の防御機能を保ちます。
- ☞スキンケアのために強い洗浄力のある石鹸や、ゴシゴシ洗いは避ける。
- ☞大根やニンジンなどの根菜類を摂り、体を冷やす夏野菜などは控えめにする。

北海道では、コロナウイルス感染症の拡大により警戒レベルも引き上げられました。「いつまで振り回されるのか」とウンザリなのが本音ですが、この状況を何とか乗り越えていきましょう。

今年も出ましたシルバー川柳



今年も9月に入選作が発表されました。世相を表す作品など、その中からいくつか紹介します。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ○脳トレを 毎日してます 探し物 | ○テレワーク やってみたいが 俺無職 |
| ○円満の秘訣 ソーシャルディスタンス | ○耳鳴りも ピーシーアールと 音がする |
| ○要請を される前から 日々休み | ○武勇伝 俺の話は 無観客 |
| ○入らない 母の入れ歯で 騒ぐ父 | ○じいちゃんの 敵は段差と パスワード |

笑えるような、笑えないような……。

過去を変えることはできないし、変えようとも思わない。

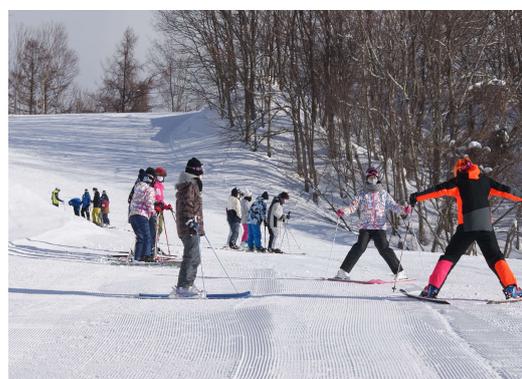
なぜなら人生で変えることができるのは、自分と未来だけだからだ。 （野口 英世）

令和2年度 授業等の支援実施状況

支援分野	実施状況（稼働ボランティア・支援日数・回数）
読書指導 (計10日、10回実施)	【西当小】 土田悦子さん、大原慈子さん 10日 10回(1～2年生)実施済 当別小はコロナが収束次第開始予定だったが、すべて中止
スキー学習支援 (計16日、27回実施)	令和3年1月18日(月)～2月9日(火) 当小9日、西当小8日、当中・西当中各4日 計16日、27回 延べ58人支援 池内芳美さん 13日、近藤充さん 12日、原田栄子さん 10日、 萩原才行さん 7日、綿谷さやかさん 6日、石崎聖一さん 5日 (教委：小松 2日、山谷 2日、吉田 1日)
水泳学習支援	今年度、水泳学習はすべて中止
柔道学習支援	感染症予防の観点から、柔道の授業は今年度は中止
ミシン実習支援 (計5日10回実施)	【当別小】 畑みどりさん他 7名 (9月8, 10, 18日 2月15, 17日 延べ19名)
クラブ活動支援	今年度、西当小のクラブ活動(茶道)はすべて中止
夏休み学習会支援	各学校ともに、夏休みが大幅に短縮となったため、今年度の夏休み学習会は中止



ミシン実習支援(令和3年2月 当小)



スキー学習支援(令和3年1月 西当中)

令和2年度 土曜教室 実施状況

支援分野	実施状況(会場・稼働ボランティア)
土曜教室 (計2日実施)	◇ 化石学習体験教室 5/23 コロナ禍、学校臨休、中止
	◇ 科学実験教室 6/13 //
	(1) ふるさと再発見、町内巡検 7/4 (町内 大畑裕貴教育部長)
	参加数 18名
	(2) ニュースポーツ体験 9/26 (白樺コミセン 須藤 豪さん)
	参加数 12名
	(3) ふるさと・環境学習「フットパスツアー」10/3 荒天中止
	(4) 百人一首「下の句かるた」体験教室① 11/28 コロナ感染者急増で中止
	(5) 科学・生物体験教室(化石学習) 12/5 //
	(6) 百人一首「下の句かるた」体験教室② 12/12 //
(7) ものづくり・昔あそび「折り紙体験①」 1/30 コロナ禍で中止	
(8) ものづくり・美術「パステルアート体験」 2/20 //	
(9) ものづくり・昔あそび「折り紙教室②」 3/6 //	

児童・生徒一人当たりの図書貸出冊数実績

	児童図書貸出（冊）			児童 生徒数 （人）	一人当たりの 図書貸出数 （冊）	対前年比
	当別町図書館 本館	当別町図書館 西当別分館	合計			
H30	10,584	10,950	21,534	940	22.91	-
R1	9,069	11,694	20,763	894	23.22	1.4%増
R2	8,078	7,734	15,812	835	18.94	18.5%減

令和3年度 新たな生涯学習プログラムの展開（事業実績）

R3.8.27現在

① 当別町小中高大生TOWNミーティング 「とうべつ学園MV（ミュージックビデオ）作成」

	日程	事業名	チーム	参加人数
1回目	6/22（火）	企画会議①	当小・当中	7
2回目	6/29（火）	企画会議②	当小・当中	6
3回目	7/9（金）	撮影①（町内撮影、ドローン空撮など）	当小・当中	7
4回目	7/13（火）	撮影②（町内撮影、ドローン空撮など）	当小・当中	7
5回目	7/20（火）	映像構成検討①	当小・当中	7
6回目	12/14（火）	撮影③（合唱・演奏録音）	当小・当中	
7回目	3月	撮影④（新校舎での撮影）	当小・当中	
8回目	3月	映像構成検討②	当小・当中	
-	4月以降	開校式等でMV発表、以降YouTube配信	当小・当中	

当別町小中高大生TOWNミーティング 「当別町音楽祭」

	日程	事業名	チーム	参加人数
1回目	6/24（木）	企画会議	西当小・西当中	6
2回目	7/8（木）	撮影①（オープニングムービー録音など）	西当小・西当中	6
-	7月～10月	各学校の学校祭等での音楽発表撮影	-	-
3回目	10/20（水）	撮影②（進行部分撮影など）	西当小・西当中	
-	11/3（水・祝）	当別町音楽祭（YouTube配信）	-	-

当別町小中高大生TOWNミーティング 「記念メニュー開発」

	日程	事業名	チーム	参加人数
1回目	6/23（水）	グルメミーティング① Zoom	当別高・医療大	5
2回目	7/8（木）	グルメミーティング② Zoom	当別高・医療大	4
-	7/15木～8/1日	道の駅での150周年記念メニュー販売	-	-
3回目	8/1（日）	学生による記念メニュー販売	当別高・医療大	4
		合計		59

② 北海道医療大学連携講座

	日程	事業名	対象者	参加人数
1回目	11/26（金）	いつまでもいきいきと暮らすために	高齢者向け	
2回目	1/28（金）	音楽を用いたリハビリテーション	高齢者向け	
		合計		0

③ 当別町歴史学習講座

	日程	コース	参加人数	コース	参加人数	参加人数小計
1回目	5/22（土）	入門編	中止	実践編	中止	中止
2回目	6/19（土）	入門編 Zoom	22	実践編 Zoom	11	33
3回目	7/17（土）	入門編 Zoom	19	実践編 Zoom	10	29
4回目	8/21（土）	入門編 Zoom	22	実践編 Zoom	13	35
5回目	9/18（土）	入門編		実践編		
6回目	10/16（土）	入門編		実践編		
7回目	11/20（土）	入門編		実践編		
8回目	12/18（土）	入門編		実践編		
9回目	1/15（土）	入門編		実践編		
10回目	2/19（土）	入門編		実践編		
11回目	3/19（土）	入門編		実践編		
		合計				97

④ ことぶき大学

	日程	事業名	参加人数
1回目	7/30 (金)	講座手続き	44
2回目	8/6 (金)	パークゴルフ	
3回目	8/27 (金)	体力テスト	
4回目	9/9 (木)	音楽を楽しもう①和おん	
5回目	9/24 (金)	出前講座「報道写真の現場」	
6回目	10/8 (金)	パステルアート「色紙」	
7回目	10/22 (金)	町外施設見学 (サッポロビール博物館、アリオ札幌)	
8回目	11/12 (金)	ソープカービング	
9回目	12/10 (金)	ヤクルト出前講座「健腸長寿」	
10回目	12/24 (金)	音楽を楽しもう②尺八と文学の話	
11回目	1/14 (金)	和のフィットネス	
12回目	2/4 (金)	映画鑑賞「大地の侍」上映会	
13回目	2/18 (金)	明治出前講座「からだは食べ物からできている」	
14回目	3/18 (金)	修了式	

ことぶき大学 課外・特別講座

	日程	事業名	参加人数
1回目	9/4 (土)	当別フットバス	
2回目	10/23 (土)	職業人の話を聞く集会	
3回目	11/26 (木)	医療大学連携講座① いつまでもいきいきと暮らすために	
4回目	1/28 (金)	医療大学連携講座② 音楽を用いたリハビリテーション	

ことぶき大学 多世代交流

	日程	事業名	参加人数
1回目	未定		
2回目			
合計			44

⑤図書館イベント等

	日程	事業名	参加人数
1回目	4/20火～5/16日	春の読書週間	中止
2回目	6/5 (土)	ライブラリーコンサート & 絵本の読み聞かせ	中止
3回目	6月～9月	P O P コンテスト	245
4回目	10/5火～11/7日	秋の読書週間	
合計			245

令和3年度（第14期）当別町小中高大学生TOWNミーティング 実施状況

- 1 参加 各学校の児童会・生徒会役員・学級委員等 代表者3名程度
当別小学校、西当別小学校、当別中学校、西当別中学校、
当別高等学校、北海道医療大学
- 2 内容 テーマ「当別町150周年事業を実施しよう」

【チーム活動】

当小・当中チーム 「とうべつ学園校歌MV作成」

令和4年4月開校の義務教育学校「とうべつ学園」校歌MV（ミュージックビデオ）を作成を通じて、子どもたちが学校の未来や当別町の良さについて考える機会とする。

企画会議
撮影など 活動5回



西当小・西当中チーム 「当別町オンライン音楽祭」

町内の小学校・中学校・高等学校・大学、一般の音楽グループなどが一堂に参加したオンライン音楽祭の動画を作成をする。作成した動画は、YouTubeによる動画配信を行う。

企画会議
オープニングムービー撮影など
活動2回



高校生・大学生チーム 「記念メニュー開発」

当別町の食材を使って、道の駅事業者と連携した150周年記念メニューの開発、販売を行う。

グルメミーティング
記念メニュー販売 など
活動3回



令和3年度地域運動部活動推進事業について

1 経緯

現在進められている教職員の働き方改革の観点から、国では平成31年1月25日の中央教育審議会答申で、地域で部活動に代わり得る質の高い活動の機会を確保できる体制を整え、将来的に部活動を学校単位から地域単位の取組とし学校以外が担うことについて提言を行った。

令和2年9月文部科学省はスポーツ庁と連名で、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」により休日の部活動を令和5年度から段階的に地域移行することを目指すとしており、その実践研究とし、学校と地域が協働・融合した部活動の実現方策やスケジュールを示し、スポーツ庁では休日の部活動の休日の地域部活動の全国展開に向け「地域運動部活動推進事業」の実施に至った。

北海道教育委員会は、当別町、紋別市、登別市を再委託先と決定し、地域の実情を踏まえた望ましい部活動の在り方の検討を目的として本事業を進めている。

2 目的

生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の実現に向けて休日の部活動の段階的な地域移行や合同部活動等の推進に関する実践研究を実施することで、今後の当別町の地域部活動の効率的な在り方検討を行う。

3 実施期間 令和3年7月1日～令和4年2月28日

4 事業概要

事業運行管理

- ① 実施方針策定
- ② 地域運動部活動実践の共有と検証
- ③ 地域運動部活動の普及方法の検討
- ④ 実施協議会の設置、運営

指導者の確保

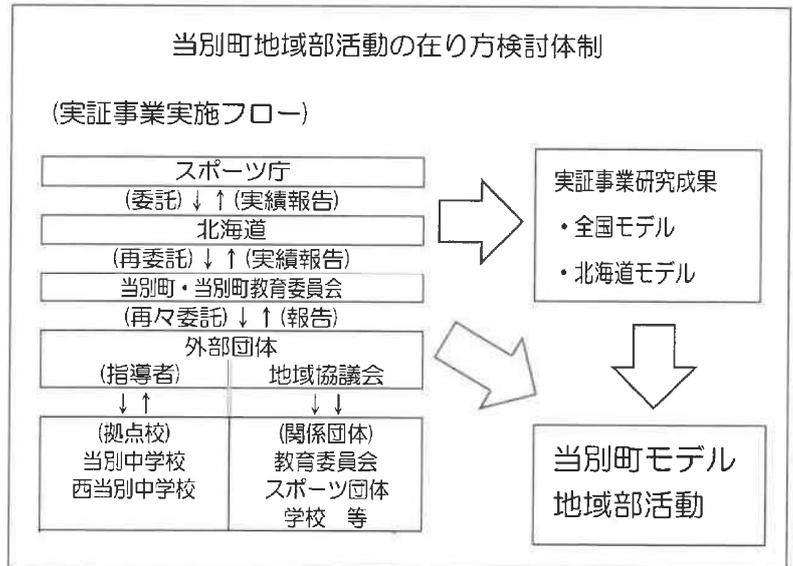
- ① 適した人材の発掘
- ② 採用、雇用、登録
- ③ 研修
- ④ 指導員配置、指導

地域部活動の実施

- ① 活動現場の巡回
- ② 事業の課題抽出
- ③ 事業発展に向けた協議
- ④ 各種報告

事業の調査研究

- ① 事前、事後アンケートの実施
- ② 検証成果の評価分析、報告書作成



5 拠点校及び対象部活動

- ① 拠点校 当別中学校 西当別中学校
- ② 対象部活動

(1) 陸上部(当別中学校)

競技専門の教師が不在なことから、平日の練習と休日の練習において、専門の指導者を配置、地域人材の活用による、新しい部活動モデルの構築を検証する。

(2) 野球部 (当別中学校、西当別中学校合同部活動)

(3) バスケットボール部 (当別中学校、西当別中学校合同部活動)

競技専門の教員による指導が行われているため、休日の練習のみ地域部活動の実施を行い、兼業兼職と地域人材の活用の融合を検証する。

6 当面の予定

- | | |
|------|---|
| 8月上旬 | 外部団体業務委託契約締結
実施協議会(年度内全4回開催予定)
説明会・アンケートの実施 |
| 8月中旬 | 地域部活動開始(8月～2月まで指導者配置) |
| 1月下旬 | 教師・生徒・保護者アンケートの実施 |
| 2月下旬 | 実証検証まとめ |
| 3月上旬 | 北海道教育委員会へ実績報告書提出 |

～本は ともだち～

おすすめ本 POPコンテスト

本の紹介文を書いて、自分の好きな本の面白さをみんなに伝えよう！

POPの書き方（字だけでも絵を描いてもかまいません）

① 紹介したい本のおすすめポイント
心に残った言葉・シーンなど、ピックアップしよう！



この本のここが好き
誰かに読んでほしいなあ

②～チェックポイント～

- ・ 結末（終わり）は書かないようしよう！
- ・ 立ち止まるようなキヤッチコピー！



本の魅力をつたえるには・・・？

③ わかりやすい大きさ・字で書いてみよう



えほん
えほん

④ 絵や色で工夫しよう



か 描けたよ！

（見本）こんな感じに描いていますよ！チャレンジしてみてくださいね。



応募について・・・うら

令和3年度おすすすめ本 POP コンテスト開催要項

- 1 目的 おすすすめ本の POP 作成を通して、図書館をたくさん利用していただくとともに、読書のおもしろさ、大切さを感じてもらおう機会とします。
- 2 主催 当別町教育委員会
- 3 応募資格 町内の認定こども園の園児、小中学校の児童・生徒
- 4 部門 幼児の部門
小学校1,2年生の部門、3,4年生の部門、5,6年生の部門、中学生の部門
- 5 タイトル 当別図書館、西当別分館、学校図書館で貸出しをしている図書
もしくは、各自持っている図書
・ 幼児の部門は、「三匹のこぶた」のぬりえ
・ 小学生～中学生の部門は、自由
（雑誌・コミック・郷土資料・新聞を除く）
- 6 応募方法 所定の応募用紙に作品を描き、応募箱に入れてください。
応募箱は、当別図書館、西当別分館、認定こども園、小中学校に設置しています。応募は、1名につき1作品とします。
- 7 応募期間 5月25日（火）～7月31日（土）
- 8 注意点
・ 表紙のイラストなど著作権を侵害するような既存作品（キャラクター・字体・デザイン等）使用できません。また、本の中身や帯、インターネットで公開されている紹介文をそのまま写した文章等の使用はできません。
・ 応募作品は、返却できませんので、ご了承ください。
・ 応募作品の著作権は、当別町教育委員会社会教育課に帰属します。
・ 応募されたポップは、当別図書館、西当別分館で展示（9/1～9/30予定）、町ホームページに掲載いたします。
- 9 選考 当別町教育委員会職員により選考します。
（賞状、副賞の授与を予定しています）
- 10 問い合わせ 当別町教育委員会社会教育課（当別町図書館） TEL23-0573

【子育て支援・幼児教育分野】

令和2年度の点検及び最終評価 P 63～

令和3年度の点検及び中間評価 P 66～

点検項目		子育て支援の充実と幼児教育・保育の充実	
2年度 達成目標	【達成指標】 待機児童ゼロ		
具体的 取組	1 就園援助事業の実施 2 保育士等就労支援事業の実施 3 幼保・小間接続プログラムの実施 4 三課横断「子育て支援事業」の実施		
	中間評価		最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった		達成した
自己評価	【進捗状況】 1-(1) 当別町独自の事業として、令和2年度より就園援助事業（所得の低い家庭への補助事業）を実施した。1号及び2号認定子どもに係る保育料以外の実費負担費用（主食費及び教材費）は、生活保護世帯を無償化した。 1-(2) 多子世帯の負担軽減策として、3歳未満第2子の保育料無償となる第2子カウント年齢制限撤廃範囲を国の基準（年収約360万円未満世帯）から道補助対象基準（年収約640万円未満世帯）まで拡大し、子育て世帯の経済的負担軽減を図った。 2 当別町独自の事業として、当別町内の認定こども園の保育士等の確保及び離職防止を図り、質の高い教育、保育を安定的に提供するため、認定こども園に一定期間勤務している保育士等に対して就労支援交付金の給付を行った。 3 昨年度末に制定した、幼保小接続プログラムの実施に向け、年長児の指導を小学校と連携、協力し、1年という期間で	【成果】 1-(1) 本事業により、生活保護世帯の経済的負担を軽減することができた。 （対象児童2人、計7万6千円を補助） 1-(2) 本事業により、多子世帯の経済的負担を軽減することができた。 （3歳未満第2子の保育料無償化：対象世帯数40世帯（対象児童40人）、計731万1千円の保育料を無償化） 2 本事業により、保育士及び幼稚園教諭21名へ計233万5千円を給付した。今後も人材の確保に努めていく。 雇用継続という点で成果を得た。 3 令和2年度はコロナ禍により様々な制限があったため、入学後の子どもの状況が把握できない等、幼保小接続プログラ	

	中間評価	最終評価
	<p>コロナ対応も見据えながら進めていく。</p> <p>4 子育て支援センターでは、新型コロナウイルス拡大防止のため親子の交流事業「あそびのひろば」を当初休止していたが、6月から再開した。感染状況を確認しながら、開設日や人数、時間等を制限する中、利用者の要望に応えることができた。(あそびのひろば：前期 70 日開設)</p> <p>後期に向け、社会教育課と連携した多世代交流や各講座、イベント等の開催を検討する。</p>	<p>ムの実施に困難な面があった。次年度、精力的にプログラムを進める。</p> <p>4 子育て支援センターについては、6月から再開し、感染防止に配慮しながら事業を展開した。親子のふれあいの時間や親子同士の交流の場を設けるなど、センターの目的を達成することができた。</p> <p>〈子育て支援センター利用実績〉</p> <p>年間 178 日開設 225 組 469 人</p> <p>〔前期 70 日開設 67 組 141 人〕</p> <p>〔後期 108 日開設 158 組 328 人〕</p> <p>三課横断による事業は、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という）の影響により実施することができなかった。</p>
今後の方向性		<p>1 就園援助事業の対象を拡大するなど、低所得者や多子世帯の経済的負担の更なる軽減を図るよう検討する。</p> <p>2 保育支援者配置事業は、令和3年度以降も継続する。</p> <p>3 幼保小接続プログラムは、令和3年度以降も精力的に進める。</p> <p>4 三課横断による事業は、コロナ禍においても、実施できる方策を検討していく。</p> <p>5 令和3年度に新たな子育て支援として「子育て短期支援事業」の体制整備を行う。</p>
担当係	子ども係、子育てサポート係	

点検項目	社会全体で子どもを守る体制の構築	
2年度 達成目標	【達成指標】 児童虐待及び一時保護事案ゼロ	
具体的 取組	1 児童虐待防止のための学校や各機関との連携 2 子どもプレイハウスの充実（自主学習、運動習慣の定着）	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて一定の進展があった	達成に向けて一定の進展があった
自己評価	<p>【進捗状況】</p> <p>1 前期の児童虐待に伴う一時保護事案は1件あった。事案発生に対して、警察、関係学校、医師会、児童相談所と連携し、解決の道筋を作ることができた。引き続き、児童虐待防止のため関係機関と連携し対応する。</p> <p>2 子どもプレイハウスでは、新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休校による急な開設時間の変更に対応し、利用自粛の呼びかけや活動を制限しながらの運営となったが、体育館の利用など学校の協力もあり児童が体を動かしたり密にならない活動ができた。</p> <p>学習習慣については、新1年生の落ち着きが見られなかったが、指導員の指導により徐々に改善され、学校再開以降、学習習慣も定着してきた。</p> <p>今後も感染症対策を施し、充実した活動ができるように進めて行く。</p>	<p>【成果】</p> <p>1 令和2年度の相談件数は、12件（うち一時保護案件2件）。この12件については、ネグレクトによる指導中の継続事案1件を除き、他は解決した。</p> <p>内訳：重度（生命にかかわる案件）0件 中度（児童相談所、警察案件）7件 軽度（学校、町教委案件）5件</p> <p>2 新型コロナの影響により、バス遠足、社会見学、料理教室など計画していた行事が中止となったが、自主的学習や運動、お楽しみ会等のレクリエーションにより、充実した活動をすることができた。</p>
今後の 方向性	/	<p>1 児童虐待防止については、学校や福祉課、児童相談所、警察など関係機関と連携し進める。子ども未来課は、それらの調整役としての機能を果たす。</p> <p>2 子どもプレイハウスについては、感染症対策を徹底しながら開設に努める。</p>
担当係	子育てサポート係	

点検項目		子育て支援の充実	
3年度 達成目標	【達成指標】 交流事業の参加者前年度比10%以上増、児童虐待及び一時保護事案ゼロ		
具体的 取組	1 地域や関係機関との連携による子育て支援 2 子どもプレイハウスでの活動の充実（学習活動、スポーツ活動等） 3 児童虐待防止のための各機関との連携 4 子育て短期支援事業（ショートステイ）の実施		
	中間評価	最終評価	
目標の 達成状況	達成に向けて一定の進展があった		
自己評価	<p>【進捗状況】</p> <p>1 子育て支援の中核を担っている「子育て支援センター」は、緊急事態宣言中、休止せざるを得なかったが、6月の宣言解除後は、単独で事業を行うことができた。</p> <p>〈利用実績〉 前期：71日開設 67組 149人</p> <p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子のふれあい時間の設定 ・親子同士の交流の場の設定 ・育児についての指導、助言などにより支援できた。 <p>2 「子どもプレイハウス」は、新型コロナの拡大防止に取り組み開設できた。 今後も感染防止に留意し、行事やイベントの開催、学習・スポーツ活動に取り組んでいく。</p> <p>3 児童虐待に伴う一時保護案件が、2件発生した。1件は解決、他の1件は関係機関との連携により早期解決をめざす。 また、令和2年度からの継続案件については、家庭訪問による指導を2度行</p>		

	中間評価	最終評価
	<p>い解決を図った。</p> <p>4 「子育て短期支援事業」を開始した。 利用はまだ無いが、今後、事業の周知に努める。</p>	
担当係	子育てサポート係	

点検項目	幼児教育・保育の充実	
3年度 達成目標	【達成指標】 待機児童ゼロ	
具体的 取組	1 認定こども園の教育・保育活動の充実 (1) 保育支援者配置事業 (2) 加算保育士配置事業 2 就学に向けた幼保小間の接続プログラムの推進	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった	
自己評価	<p>【進捗状況】</p> <p>1-(1) 保育支援者配置事業について 保育支援者を各園1名を配置し、業務の負担軽減を図ることができた。 〈保育支援者の主な業務〉 ① 保育環境の整備(保育遊具等の消毒、給食の配膳・片付け等) ② 園外活動時の見守り ③ 保育教材の作成 など保育士の負担軽減に資する業務 〈事業概要-賃金の補助〉 645円×勤務時間(月額10万円を上限)</p> <p>1-(2) 加算保育士配置事業について 国の基準を超えて、各園1名の保育士を配置することができた。待機児童の発生抑制、保育士の業務軽減につなげた。 〈事業概要-賃金の補助〉 北海道最低賃金×勤務時間×日数</p> <p>2 新1年生の情報共有に関する会議を8月に実施。特に、特別な支援を必要とする児童について情報共有がなされ、後期につながる会議をすることができた。</p>	
担当係	子ども係	

第4章 外部評価

○外部評価委員

冷川元彦氏（元中学校校長）

浜上尚也氏（北海道医療大学教授）

教育委員会において実施した事務事業評価に対し、概ね妥当であるとの評価をいただきました。

1 学校教育分野について

外部評価委員の意見	今後の取組等について
<p>「どうべつ未来学」は、特色ある教育活動として、とても重要な意味を持っています。今年度試行したようですが、現場はもとより、地域の声なども十分に聞いて来年度の実施に備えていただければと思います。（冷川氏）</p>	<p>「どうべつ未来学」は、試行結果をもとに課題等の整理を行い、来年度に向け進めてまいります。</p>
<p>新型コロナウイルスの影響による授業のカットは、かなりの時数に上りましたが、様々な方法で対策を講じ、標準授業時数を確保できたことは良かったと思います（冷川氏）</p>	
<p>教科担任制については、ワーキンググループによる検討を重ね、着々と実践につなげていると聞いております。専門性の高い教師が授業を担当することはメリットが大きいので、より多くの教科での実施を期待します。</p> <p>ちなみに、私の過去の経験で、小学校高学年の場合、国語と算数を学級担任が担当し、他の教科はすべて教科担任という学校もありました。（日本人学校）</p> <p>「どうべつ学園」は、町内・管内はもとより、全道・全国でも先進的取組として期待され、注目されています。その意味においてもHP等を積極的に活用した情報発信（具体的な内容で）をさらに進めてほしいと思います。（冷川氏）</p>	<p>今年度は理科及び英語で加配教員や学力向上推進講師を活用した教科担任制を行っております。来年度はさらに拡充する計画です。</p>

外部評価委員の意見	今後の取組等について
<p>学習に遅れをとる児童生徒に対してのフォローはどのように行っているのでしょうか。配置されている人員を有効に活用することが必要と考えます。(浜上氏)</p>	<p>TT、習熟度別学習、放課後学習会を実施しております。</p> <p>また、町配置の学力向上推進講師や特別支援員、道配置の退職教員等外部人材活用事業の講師による支援を実施しております。今後はICTを家庭学習に活用して復習に生かすなど、個別最適化した学習を進めてまいります。</p>
<p>授業は言うまでもなく教育活動の根幹をなすものです。これまでに各校の研修部や授業改善推進チームを中心に様々な取り組みが行われ、英語教育等で着実にその成果が出ていることは高く評価できます。さらに高い目標を設定し、向上していくことを期待します。(冷川氏)</p>	
<p>放課後学習会や土曜学習会なども実践を続けていますが、その意義や成果を改めて検証し、学力向上にどうつなげていくのか幅広い視点で見直す時期に来ているのではないのでしょうか。(冷川氏)</p>	<p>参加者の声をひろい、成果の検証を行い、改善につなげてまいります。</p>
<p>GIGAスクール事業は、今後益々、意義が高まるでしょうから、より充実した指導方法の工夫改善を期待します。(冷川氏)</p>	
<p>ICT教育の推進も望まれる点ではありますが、学校において学習の修得状況の把握は必要であると考えます。(浜上氏)</p>	<p>小テストや単元テストを実施することで、理解の状況や学習内容の定着度の確認をしております。</p>
<p>学校教育指導主事による状況の把握と指導助言は重要であると思いますが、どの様にフィードバックを行っているのでしょうか。(浜上氏)</p>	<p>定例の教頭会研修や学校への指導主事訪問時に指導助言を行っております。</p>

外部評価委員の意見	今後の取組等について
<p>道徳は、教育課程全体を通して行われるものではありませんが、教科道徳の果たす役割は非常に大きいと考えています。</p> <p>道内、国内では相変わらず「いじめ」による自殺や不登校などが報道され、心が痛みます。いじめを生まない、許さない人間関係、集団づくりなど日常的に取り組んでいるとは思いますが、学年・学級経営の観点からも実践していったほしいと思います。</p> <p>また、今日的な社会問題や児童生徒の身近な課題を取り上げて柔軟に教育課程を運用する姿勢を大切にしたいと思っています。</p> <p>(冷川氏)</p>	<p>「いじめ撲滅宣言」など、教育課程全体でいじめ撲滅に取り組むよう、学校への指導・支援を続けてまいります。</p>
<p>児童、生徒、保護者等が相談できる窓口（第三者による窓口、カウンセラー等）が設置されているのでしょうか。相談を希望する者に対し、設置機関（窓口）が広く周知され、相談をしやすい体制づくりが必要であると考えます。</p> <p>(浜上氏)</p>	<p>現在、社会教育課内に「子どもに関する窓口」を設置しておりますが、ご指摘のとおり、相談者が安心して活用できる窓口となるよう、体制づくりに努めてまいります。</p>
<p>薬物乱用防止教育について、各学校において実施されておりますでしょうか。</p> <p>薬物乱用防止教育は、健康教育の一環として薬物に対する正しい知識を持つことのできる機会でもあり、継続的に健康教育活動等の推進を行うことが必要です。</p> <p>また、アレルギーに対する薬物での対応もその一つです。関係機関（薬剤師会、学校薬剤師会、学校保健会など）から協力を得ることも可能です。（浜上氏）</p>	<p>薬物防止教室を中学校では全学年、小学校では高学年で実施しております。</p> <p>薬物に対する正しい知識を得る貴重な機会でありますので、継続して健康教育活動の推進を行ってまいります。</p>
<p>町内の小中学校では、生徒指導に関わる事件・事故がほとんどないと聞いています。児童生徒が落ち着いた学校生活を過ごせるのは、先生方の日常の指導の成果であり、敬意を表したいと思います。（冷川氏）</p>	

外部評価委員の意見	今後の取組等について
<p>一方で不登校生徒の現状はどうか。様々な要因がある中で、対応も難しいとは思いますが、小中間の情報を共有し、不登校ゼロを目指して取り組んでほしいと思います。(冷川氏)</p>	<p>情報共有など一貫校の利点を活かした取り組みを進めるよう、指導を継続してまいります。</p>
<p>小中連携や合同事業は、時間の調整を始め準備が大変ではありますが、非常に意義あるものと考えています。特に、児童会・生徒会の活動は小中一貫校では不可欠です。活動交流・意見交流会、合同ボランティア活動等々、児童生徒の声を反映しながら、積極的な推進を期待します。</p> <p>また、児童生徒の豊かな心を育む読書活動は、本当に大切なものです。図書室の整備・充実を図ることはもちろんですが、合同の読書討論会の開催、中学生による小学校低学年への「読み聞かせ」などを検討してみたいかがでしょうか。(冷川氏)</p>	<p>西当別中学校の「ビブリオバトル（書評合戦）」などの取り組みを全校に広めるなど、一貫校らしい取り組みを進めるよう指導いたします。</p>
<p>「体力」は、生きる力の基礎、土台となるものでとても重要です。教科体育や部活動を始め教育課程全般を通して実践されていますが、決して十分とは言えません。家庭でも実践できる「体力づくり」についても検討してはどうでしょうか。CSも巻き込んで子どもだけでなく、親も一緒に取り組める方策など具体化できると、面白い取組になると思います。(冷川氏)</p>	<p>「ふれ・スポ・とうべつ」との連携も活かしながら、家庭での取り組みをサポートしてまいります。</p>
<p>体力測定に関しては、2020年度より日本スポーツ少年団において、運動量のみならず質も評価する「運動適正テストⅡ」を策定していることから、今後は運動の質についても調査することが望ましいと考えます。</p> <p>また、測定者及び評価者の研修についても実施することが必要であると考えます。(浜上氏)</p>	<p>現在は「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「新体力テスト」を実施しており、その結果を活用した指導を行っています。今後は運動の質についての調査も検討してまいります。</p> <p>また、測定者及び評価者の研修については、教職員研修会における研修テーマとしての設定等も検討してまいります。</p>

外部評価委員の意見	今後の取組等について
体力向上プランについては、日本体育大学の協力を得てはいかがでしょうか。(浜上氏)	ご指摘を参考に取り組みを検討してまいります。

2 社会教育分野について

外部評価委員の意見	今後の取組等について
<p>講座の実施にあたり、サテライト方法を活用した開講により一回の実施で多数の方の受講が可能であるため、活用してはいかがでしょうか。</p> <p>また、講師が遠隔地より参加することも可能です。(浜上氏)</p>	<p>講座の実施手法については、より多く受講いただけるようにサテライト等も含めた検討を進めます。</p>
<p>タウンミーティングは、小中高大のユニークな連携・交流事業で、今年度は150周年関連で充実した取り組みができたのではないかと思います。コロナ禍で様々な活動が休止となりましたが、町内の他団体と連携し、その教育機能や人材を活用していくことは必要不可欠です。とりわけ、医療大学との連携は重要です。</p> <p>町内には、優れた人材がたくさんいると思いますので、スポーツ・文化の「人材バンク」を整備するとともに、有資格者の技術・能力を生かす場の提供、町民の学習ニーズに応える人材派遣のシステムの構築も必要です。(冷川氏)</p>	<p>各関係機関や団体との連携はもとより、個人で活動されている方の協力も得ながら事業を展開してまいります。</p>
<p>学校部活動推進事業に関しては、広く地域住民にも理解していただく必要があると考えます。(浜上氏)</p>	<p>本事業は地域にとって重要な課題であるとともに、地域の理解を得て進めていく必要があることから、継続した情報発信を行いながら事業に取り組んでまいります。</p>
<p>学校支援活動については、様々な機会を活用し、住民に主な結果を報告することが望ましいと考えます。(浜上氏)</p>	<p>教育委員会内部、学校関係者への情報提供に留まっていることから、より広く理解が得られるよう、広報、町ホームページの活用等により住民周知を図ります。</p>
<p>当別は、歴史ある町ですので町民対象に開講している「歴史学習講座」は、意義深い学習機会の提供になっていると思います。150周年関係で実施したコミセンの写真パネル展も良かったと思います。(冷川氏)</p>	

外部評価委員の意見	今後の取組等について
<p>コロナ禍で「ことぶき大学」の講座がほとんど休止になったのは残念でした。今後も高齢者の生きがいづくりの一つとして講座を開設し、異世代交流を推進することは意義があると思います。(冷川氏)</p>	<p>活動制限下でも学びが途切れないよう工夫してまいります。</p>
<p>「うちどく通信」の発行は有用であると考えておりますが、周知の範囲はどこになりますでしょうか。(浜上氏)</p>	<p>「うちどく通信」については、各小中学校の児童生徒、認定こども園の園児全員への配布、図書館への配置、JR石狩当別駅の掲示板への掲示を行っております。</p>
<p>「POPコンテスト」は新たな取り組みとして実施され、予想以上の参加があり、成果があったのではないかと思います。</p> <p>今後も、町民の読書活動推進を図るために、新刊図書を増やしたり、施設設備の充実を図ったり、様々な楽しいイベントの開催を期待しています。(冷川氏)</p>	<p>町の読書施策推進のため、図書館機能の有効活用を進めます。</p>
<p>新型コロナの影響で講師派遣はできなかつたようですが、授業への講師派遣は、学校としても先生の負担軽減が図られ、児童生徒にも大きなメリットがあります。発展的継続を期待します。(冷川氏)</p>	<p>派遣要請に100%こたえられるよう体制整備に努めてまいります。</p>
<p>放課後学習会、土曜学習会は長く開催されてきましたが、基礎学力の向上や学習習慣定着という目標に照らし合わせて、評価・検証はなされているのでしょうか。その在り方、内容等も含めて見直す時期ではないのでしょうか。(冷川氏)</p>	<p>(学校教育分野の回答と同じ)</p>
<p>司書の学校派遣については、具体的な活動内容を把握していないので何とも言えませんが、図書整理だけではなく、児童生徒とともにできる活動や指導機会があれば良いと思います。(冷川氏)</p>	<p>学校図書館の環境整備を進め、今後も積極的な利用率の向上につなげてまいります。</p>

3 子育て支援・幼児教育分野について

外部評価委員の意見	今後の取組等について
<p>コロナ禍で休止の時期もあったようですが、支援センターの果たす役割は大きいので、各種関係機関との連携を密にしながら悩みを抱える親子のために更なる努力を続けていただきたいと思います。(冷川氏)</p>	<p>引き続き利用者の求めるニーズに沿った活動を続けてまいります。</p>
<p>子どもプレイハウスの果たす役割は大きいものがあると認識しています。学校や関係機関との連携を密にしながら活動の充実発展を期待します。喫緊では、今回のコロナ感染防止対策の充実、長期的視点では、児童の安心、安全な居場所づくりとして学習・スポーツ指導のプログラム開発や指導方法、内容の工夫改善も大事かと思えます。(冷川氏)</p>	<p>今後も放課後の安全な居場所として学習・スポーツ指導、行事、イベントの充実に努めてまいります。</p>
<p>子どもプレイハウスに係わる指導員の確保は必要であると思えます。(浜上氏)</p>	<p>これまで、広報、ホームページ、ハローワークへの掲載や人的ネットワークを活用し、指導員の確保に努めてきました。4月からは、人材確保を含め、学童保育運営のノウハウを持つ事業者へ委託し安定的な運営を行ってきます。</p>
<p>児童虐待は、コロナ禍もあって増加傾向を示しています。大きな社会問題にもなっていますので、関係機関との連携を密にしながら、早期発見、早期解決に向けてその任を果たしていただきたいと思えます。(冷川氏)</p>	<p>引き続き学校や保健福祉課、児童相談所などの関係機関と連携しながら早期発見、早期解決に努めてまいります。</p>
<p>ハラスメント等の問題を含め相談者を保護できる仕組みはどのような体制がありますでしょうか。(浜上氏)</p>	<p>児童虐待の通報、相談先として教育委員会子ども未来課のほか、児童相談所、警察、保健師や民生委員などがあります。被虐待者のほか、通報者や相談者も守らなければなりませんので通報者の情報を伏せて、調査、指導等を行っております。</p>

外部評価委員の意見	今後の取組等について
<p>「子育て短期支援事業」は、意義ある事業だと思いますので、今後、様々な機会をとらえて周知に努め、事業が有効に働くことを期待しています。(冷川氏)</p>	
<p>「保育支援者配置事業」も「加算保育士配置事業」も現在勤務する保育士の負担軽減という意味では有益だと思います。それぞれが業務内容を適切にこなし、園の運営が円滑に行われることを期待します。</p> <p>当別における待機児童の現状は把握しておりませんが、今後も待機児童ゼロを目指して取り組んでいただきたいと思います。(冷川氏)</p>	<p>現時点では、待機児童はおりません。認定こども園に対し、今後も支援を続けてまいります。</p>

《資料編》

1 教育委員会委員名簿

(令和3年11月1日現在)

氏名	生年月日	任期	
教育長 本庄幸賢	S28.11.26	1期 1期 2期	【旧教育長】 平成25年10月1日から平成28年9月30日 【新教育長】 平成28年10月1日から令和元年9月30日 令和元年10月1日から令和4年9月30日
教育長職務代理者 武岡和廣	S24.9.4	1期 2期 3期	平成22年10月1日から平成26年9月30日 平成26年10月1日から平成30年9月30日 【委員長職務代理者】 平成24年10月1日から平成28年9月30日 【教育長職務代理者】 平成28年10月1日から平成30年9月30日 平成30年10月1日から令和4年9月30日
委員 寺田郷子	S40.10.6	1期 2期 3期	平成23年12月15日から平成27年12月14日 平成28年12月15日から令和元年12月14日 令和元年12月15日から令和5年12月14日
委員 小林泰雄	S47.1.13	1期 2期 3期	平成24年10月1日から平成28年9月30日 平成28年10月1日から令和2年9月30日 令和2年10月1日から令和6年9月30日
委員 佐々木成尉	S48.6.1	1期 2期	平成29年11月1日から令和3年10月31日 令和3年11月1日から令和7年10月31日

当別町教育推進計画

めざす人間像

つけさせたい力と
めざす児童生徒像

～社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人～

- 1 基礎基本に基づく発見的学力、自ら学ぶ意欲 ～夢や希望を実現するため努力し、行動できる子ども～
- 2 豊かな人間性 ～自分を大切に人を大切に、未来に向かって行ける子ども～
- 3 健全な心身 ～全ての基盤となる強い体と心を持った子ども～
- 4 コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力 ～自分で考え自分の言葉で伝え、相手の意見に耳を傾け、人間関係を築ける子ども～
- 5 当別が好きな子ども ～当別に誇りを持ち、どこにいても当別を応援する子ども～

- 1 小中一貫した教科指導の充実（主体的・対話的で深い学び、教科系統表活用）
- 2 新学習指導要領対応（小学校の遅滞ない実行、中学校移行準備）
- 3 学校間のさらなる協働（学習規律、行事、いじめ対策等）
- 4 学校運営協議会の活性化（児童生徒の生活習慣改善）

一貫教育の重点

令和2年度

重点目標	【重点1】 確かな学力の育成（知）	【重点2】 豊かな心の育成（徳）	【重点3】 健やかな体の育成（体）
《基本方針》 ●小中一貫教育による確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成 ●小学校新学習要領の遅滞ない実行と中学校新学習指導要領移行への最終準備	「将来の夢や希望を実現するために必要な学力」を主体的・対話的で深い学びにより、全教育活動を通じて育成する。 1 一貫した教育課程の編成及び小学校新学習指導要領の完全実施 2 小学校教科担任制の試行（一貫教育推進講師等の活用） 3 授業改善 ①「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業実施 ② 小学校授業改善推進チーム（チームJ）の成果活用と中学校への波及 ③ 学習規律の徹底 ④ 一貫教育推進講師の配置（英語、算数・数学、各2名） ⑤ 小学校教科外語全授業ALT配置（小学2名配置、865時間 中学1名配置 108時間） 4 三課横断「学力向上対策」（放課後学習会、土曜教室、土曜学習会、ブレイクハウス）	「自分を大切に、人を大切に、ふるさとを大切に」を大切にする心」を育てて育成する。 1 教科道徳の円滑な実施 2 一貫した生徒指導の推進 ① 児童生徒の小・中学校間の共通理解 ② 小中合同事業の開催（児童会や生徒会共催、ボランティア活動、芸術鑑賞等） 3 読書活動推進（学校図書館の活用） 4 三課横断「心の育成事業」（通学合宿、合同道徳、ブレイクハウス、多世代交流事業、文化祭等）	「自分を支える基本である健全な体」を全教育活動を通して育成する。 1 一貫した体力向上プラン 2 高等教育機関との連携 ① 北海道医療大学との連携（歯科検診、フッ化物洗口、がん予防教育、ピロリ菌検査） ② 日本体育大学との連携 3 安心安全な給食の提供 ① 当別高校と連携したメニュー開発 ② 地場産食材の活用
達成指標	全国学力・学習状況調査や各検査結果全国平均以上	いじめゼロ	全国体力調査、体力総合得点全国平均以上
学校支援課題	▶当別高等学校、ことぶき大学、食生活改善協議会等町内各団体との連携 ▶教職員の働き方改善 ▶ストレスチェックの実施 ●小中一貫教育の推進 ●一類型義務教育学校開校準備 ●教職員の長時間勤務の改善 ●認定こども園との接続の在り方 ●当別町150年関係		
重点目標	【重点1】 子育て支援の充実と幼児教育・保育の充実	【重点2】 社会全体で子どもを守る体制の構築	
《基本方針》 ●子どもの健やかな成長のための子育て支援 ●幼児教育と義務教育の円滑な接続	1 就園援助事業の実施 2 保育士等就労支援事業の実施 3 幼保・小園接続プログラムの実施 4 三課横断「子育て支援事業」の実施 待機児童ゼロ ●保育士の安定的な確保 ●子育て環境の充実一就園援助の拡大、保育料無償化の拡大、保育料無償化の拡大（3歳児以下の第2子） ●接続プログラムの検証と改善	1 児童虐待防止のための学校や各機関との連携 2 子どもブレイクハウスの充実（自主学習、運動習慣の定着）	
達成指標	待機児童ゼロ		
課題	●保育士の安定的な確保 ●子育て環境の充実一就園援助の拡大、保育料無償化の拡大、保育料無償化の拡大（3歳児以下の第2子） ●接続プログラムの検証と改善		
重点目標	【重点1】 多彩な生涯学習プログラムの展開	【重点2】 三課横断「児童生徒、学校及び家庭支援」	【重点3】 読書活動の推進
《基本方針》 ●子どもをはじめ、全ての町民が幸せを実感できる生涯学習社会の実現	1 地域や当別高校、北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携及び人材活用 2 歴史・文化プロジェクトによる古文書解析 3 多世代交流事業（高齢者の生きがいづくり）の推進 ことぶき大学各事業参加率 70%以上 ●各団体への若年層の参加促進 ●社会教育施設整備 ●図書館から図書館への移行に伴う整備	1 小学校、中学校の授業への講師派遣 2 土曜教室の充実（地域巡検の実施） 3 多世代交流事業（伝統文化の継承、子育て支援）	1 子どもの読書活動推進 2 司書による図書館及び学校図書館の活性化
達成指標	ことぶき大学各事業参加率 70%以上	学校要望 100%、家庭学習習慣全国平均以上	児童生徒一人当たりの貸出図書数の増
課題	●各団体への若年層の参加促進 ●社会教育施設整備 ●図書館から図書館への移行に伴う整備		

点検・評価

- 教育委員会は、自己点検・評価を行い、事務事業評価を行い外部による点検・評価を受ける。
- 学校は、各校で自己点検・評価を行い、さらに学校運営協議会評価部会による評価を受ける。

学 校 経 営 計 画

《令和3年度》当別町教育推進計画

めざす人間像

つけさせたい力と
めざす児童生徒像

～社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人～

- 基礎基本に基づく発展的学力、自ら学ぶ意欲 ～夢や希望を表現するため努力し、行動できる子ども～
- 豊かな人間性 ～自分を大切に、未来に向かって行ける子ども～
- 健全な心身 ～全ての基盤となる強い心と体を持った子ども～
- コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力 ～自分で考え自分の言葉で伝え、相手の意見に耳を傾け、人間関係を築ける子ども～
- 当別が好きなお子とも ～当別に誇りを持ち、どこにいても当別を応援する子ども～

学校教育		学校教育		学校教育	
<p>重点目標</p> <p>主體的・対話的で深い学びにより、将来の夢や希望を実現するために必要な学力を育成する。</p>	<p>【重点1】 確かな学力の育成(知)</p> <p>1 小中学校連続した教育課程の編成と実施</p> <p>① 「主體的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業改善</p> <p>② 小学校授業改善推進チーム(チームJ)の視点を取り入れた授業改善</p> <p>③ 新しい取り組みへの挑戦(とうべつ未来学、教科担任制、学びのハンドブック)</p> <p>④ GIGAスクール事業(一人一台端末配置、授業改善、オンライン授業研究等)</p> <p>2 学びを支える人的支援</p> <p>① 学校教育指導主事の派遣</p> <p>② 学力向上推進講師の配置(英語、算数・数学、各2名)による教科担任制試移行</p> <p>③ 小・中学校へのA.L.T継続配置による外国語教育の充実</p> <p>④ 特別支援教育支援員継続配置(各校2名)による特別支援教育の充実</p>	<p>【重点2】 豊かな心の育成(徳)</p> <p>自分を大切に、人を大切に、ふるさとを大切にす心を全教育活動を通じて育成する。</p> <p>1 教科「道徳」を中心とした心の育成</p> <p>2 小中学校間の情報共有と発達段階を踏まえた原簿・生徒指導</p> <p>3 小中合同事業の開催(児童会や生徒会、いじめ撲滅集会、ボランティア活動等)</p>	<p>【重点3】 健やかな体の育成(体)</p> <p>自分を支える基本である健全な身体を、全教育活動を通じて育成する。</p> <p>1 小中学校間の情報共有と発達段階を踏まえた体力向上の取り組み</p> <p>2 一校一実践</p> <p>3 食育指導</p>	<p>達成指標</p> <p>全国学力・学習状況調査等学力検査結果全国平均以上</p>	<p>いじめゼロ</p> <p>全国体力調査、全種目全国平均以上</p>
<p>課題</p> <p>●とうべつ学園開校準備(開校準備委員会、教育課程編成委員会のマネジメント強化)</p> <p>●予期せぬ事態への対応(新型コロナウイルス感染症防止対策の継続、GIGAスクール構想の推進による「学びを止めない」仕組みの構築、教職員研修の充実、マニュアルの改善)</p> <p>●高等教育機関との連携 ●いじめ、不登校対策の充実(青少年センターの機能拡充) ●三課共同による「知・徳・体」育成の取り組み</p>	<p>【重点2】 幼児教育・保育の充実</p> <p>1 認定こども園の教育・保育活動の充実</p> <p>① 保育支援者配置事業</p> <p>② 加算保育士配置事業</p> <p>2 就学に向けた幼保小間の接続プログラムの推進</p>	<p>【重点2】 新たな生涯学習プログラムの展開</p> <p>1 地域や関係機関との連携による子育て支援</p> <p>2 子どもブレイクハウスの活動の充実(学習活動、スポーツ活動等)</p> <p>3 児童虐待防止のための各機関との連携</p> <p>4 子育て短期支援事業(シヨーストステイ)の実施</p>	<p>【重点2】 地域学校協働本部事業による児童生徒、学校支援</p> <p>1 地域学校協働本部事業による授業への講師派遣</p> <p>2 放課後学習会、土曜教室、イングリッシュ・プロジェクト等の充実</p> <p>3 学校運営協議会に対する支援</p> <p>4 図書館司書の学校派遣</p>	<p>達成指標</p> <p>交流事業の参加者前年度比10%以上増、児童虐待及び一時保護事業ゼロ</p>	<p>待機児童ゼロ</p> <p>学校要望100%達成、児童生徒貸出図書数の増</p>
<p>《基本方針》</p> <p>●小中一貫教育による確かな学力(知)、豊かな心(徳)、健やかな体(体)の育成</p>	<p>【重点1】 子育て支援の充実</p> <p>1 地域や関係機関との連携による子育て支援</p> <p>2 子どもブレイクハウスでの活動の充実(学習活動、スポーツ活動等)</p> <p>3 児童虐待防止のための各機関との連携</p> <p>4 子育て短期支援事業(シヨーストステイ)の実施</p>	<p>【重点1】 新たな生涯学習プログラムの展開</p> <p>1 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携、地域の人材の活用</p> <p>2 「当別歴史・文化プロジェクト」の推進(歴史研究、学習講座や講演会の開催)</p> <p>3 多世代交流事業(高齢者の生きがいづくり・家庭教育支援)の充実</p> <p>4 図書館活動活性化のための各種事業の実施</p>	<p>【重点1】 新たな生涯学習プログラムの展開</p> <p>1 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携、地域の人材の活用</p> <p>2 「当別歴史・文化プロジェクト」の推進(歴史研究、学習講座や講演会の開催)</p> <p>3 多世代交流事業(高齢者の生きがいづくり・家庭教育支援)の充実</p> <p>4 図書館活動活性化のための各種事業の実施</p>	<p>達成指標</p> <p>新たな連携事業の展開、各事業参加者満足度80%以上</p>	<p>学校要望100%達成、児童生徒貸出図書数の増</p>
<p>《基本方針》</p> <p>●子どもの健やかな成長のための支援</p>	<p>【重点1】 子育て支援の充実</p> <p>1 地域や関係機関との連携による子育て支援</p> <p>2 子どもブレイクハウスでの活動の充実(学習活動、スポーツ活動等)</p> <p>3 児童虐待防止のための各機関との連携</p> <p>4 子育て短期支援事業(シヨーストステイ)の実施</p>	<p>【重点1】 新たな生涯学習プログラムの展開</p> <p>1 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携、地域の人材の活用</p> <p>2 「当別歴史・文化プロジェクト」の推進(歴史研究、学習講座や講演会の開催)</p> <p>3 多世代交流事業(高齢者の生きがいづくり・家庭教育支援)の充実</p> <p>4 図書館活動活性化のための各種事業の実施</p>	<p>【重点1】 新たな生涯学習プログラムの展開</p> <p>1 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者による授業への講師派遣</p> <p>2 放課後学習会、土曜教室、イングリッシュ・プロジェクト等の充実</p> <p>3 学校運営協議会に対する支援</p> <p>4 図書館司書の学校派遣</p>	<p>達成指標</p> <p>交流事業の参加者前年度比10%以上増、児童虐待及び一時保護事業ゼロ</p>	<p>待機児童ゼロ</p> <p>学校要望100%達成、児童生徒貸出図書数の増</p>
<p>《基本方針》</p> <p>●全ての町民が幸せを感じることができる生涯学習社会の実現</p>	<p>【重点1】 子育て支援の充実</p> <p>1 地域や関係機関との連携による子育て支援</p> <p>2 子どもブレイクハウスでの活動の充実(学習活動、スポーツ活動等)</p> <p>3 児童虐待防止のための各機関との連携</p> <p>4 子育て短期支援事業(シヨーストステイ)の実施</p>	<p>【重点1】 新たな生涯学習プログラムの展開</p> <p>1 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携、地域の人材の活用</p> <p>2 「当別歴史・文化プロジェクト」の推進(歴史研究、学習講座や講演会の開催)</p> <p>3 多世代交流事業(高齢者の生きがいづくり・家庭教育支援)の充実</p> <p>4 図書館活動活性化のための各種事業の実施</p>	<p>【重点1】 新たな生涯学習プログラムの展開</p> <p>1 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者による授業への講師派遣</p> <p>2 放課後学習会、土曜教室、イングリッシュ・プロジェクト等の充実</p> <p>3 学校運営協議会に対する支援</p> <p>4 図書館司書の学校派遣</p>	<p>達成指標</p> <p>新たな連携事業の展開、各事業参加者満足度80%以上</p>	<p>学校要望100%達成、児童生徒貸出図書数の増</p>
<p>課題</p> <p>●第3次当別町子ども読書活動推進計画の推進(2021年度から施行)</p> <p>●予期せぬ事態への対応(新型コロナウイルス感染症防止対策の継続、社会教育施設運営の継続)</p> <p>●社会教育施設整備(総合体育館等) ●とうべつ学園図書館開設準備 ●三課共同による生涯学習事業、児童生徒・学校支援の推進</p>	<p>【重点1】 子育て支援の充実</p> <p>1 地域や関係機関との連携による子育て支援</p> <p>2 子どもブレイクハウスでの活動の充実(学習活動、スポーツ活動等)</p> <p>3 児童虐待防止のための各機関との連携</p> <p>4 子育て短期支援事業(シヨーストステイ)の実施</p>	<p>【重点1】 新たな生涯学習プログラムの展開</p> <p>1 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携、地域の人材の活用</p> <p>2 「当別歴史・文化プロジェクト」の推進(歴史研究、学習講座や講演会の開催)</p> <p>3 多世代交流事業(高齢者の生きがいづくり・家庭教育支援)の充実</p> <p>4 図書館活動活性化のための各種事業の実施</p>	<p>【重点1】 新たな生涯学習プログラムの展開</p> <p>1 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者による授業への講師派遣</p> <p>2 放課後学習会、土曜教室、イングリッシュ・プロジェクト等の充実</p> <p>3 学校運営協議会に対する支援</p> <p>4 図書館司書の学校派遣</p>	<p>達成指標</p> <p>新たな連携事業の展開、各事業参加者満足度80%以上</p>	<p>学校要望100%達成、児童生徒貸出図書数の増</p>

点検・評価

- 教育委員会は、自己点検・評価を行い、事務事業評価を行い外部による点検・評価を受ける。
- 学校は、各校で自己点検・評価を行い、さらに学校運営協議会評価部会による評価を受ける。

学 校 経 営 計 画

3 令和2年度教育関係予算・決算並びに令和3年度教育関係予算

(単位：円)

款	項	目	令和2年度					令和3年度	
			予 算 現 額		支 出 済 額	翌 年 度 不 用 額 [繰越明許費]	予 算 現 額		
			予 算 額	繰越事業費額			予 算 額	繰越事業費額	
3 民生費	2 児童福祉費	1 児童福祉総務費	19,078,000	0	13,042,228	0	6,035,772	24,845,000	0
		3 保育所費	349,996,000	0	349,150,102	0	845,898	348,312,000	0
		4 子育て支援センター費	4,180,000	0	3,716,149	0	463,851	3,602,000	0
		5 子ども発達支援センター費	20,100,000	0	19,883,495	0	216,505	20,934,000	0
		6 子どもプレイハウス費	22,360,000	0	21,726,089	0	633,911	22,229,000	0
		小 計	415,714,000	0	407,518,063	0	8,195,937	419,922,000	0
		合 計	415,714,000	0	407,518,063	0	8,195,937	419,922,000	0
9 教育費	1 教育総務費	1 教育委員会費	1,747,000	0	1,700,200	0	46,800	1,747,000	0
		2 事務局費	4,544,000	0	4,061,361	0	482,639	4,355,000	0
		3 教育振興費	45,493,000	0	41,804,032	0	3,688,968	73,034,000	0
		4 スクールバス運営費	65,291,000	0	59,039,438	0	6,251,562	71,249,000	0
		5 学校給食費	90,299,000	0	86,318,367	0	3,980,633	133,813,000	0
		6 施設費	2,649,663,000	0	864,005,767	1,785,463,000	194,233	2,388,460,000	0
		小 計	2,857,037,000	0	1,056,929,165	1,785,463,000	1,800,107,835	2,672,658,000	0
	2 小学校費	1 学校管理費	35,379,000	0	33,920,539	0	1,458,461	35,005,000	0
		2 教育振興費	34,019,000	0	29,255,396	0	4,763,604	21,351,000	0
		3 施設費	5,032,000	0	4,976,615	0	55,385	7,330,000	0
		小 計	74,430,000	0	68,152,550	0	6,277,450	63,686,000	0
	3 中学校費	1 学校管理費	36,031,000	0	33,215,741	0	2,815,259	35,563,000	0
		2 教育振興費	21,552,000	0	17,043,263	0	4,508,737	22,327,000	0
		3 施設費	17,285,000	0	17,002,732	0	282,268	5,062,000	0
		小 計	74,868,000	0	67,261,736	0	7,606,264	62,952,000	0
	4 社会教育費	1 社会教育総務費	9,526,000	0	6,922,531	0	2,603,469	9,915,000	0
		2 社会教育施設費	42,899,000	0	40,813,142	0	2,085,858	39,226,000	0
		3 文化財保護費	3,911,000	0	3,872,097	0	38,903	4,049,000	0
		4 指導センター費	2,778,000	0	2,619,397	0	158,603	2,883,000	0
		5 青少年費	822,000	0	211,678	0	610,322	673,000	0
		小 計	59,936,000	0	54,438,845	0	5,497,155	56,746,000	0
	5 保健体育費	1 保健体育総務費	49,467,000	0	47,061,174	0	2,405,826	48,524,000	0
		2 プール運営費	2,588,000	0	1,891,678	0	696,322	1,842,000	0
		3 総合体育館費	19,682,000	0	18,775,484	0	906,516	11,737,000	0
		小 計	71,737,000	0	67,728,336	0	4,008,664	62,103,000	0
	合 計	3,138,008,000	0	1,314,510,632	1,785,463,000	1,823,497,368	2,918,145,000	0	

